



BEPPU UNIVERSITY

令和 6 年度

卒業生アンケート調査結果報告書

令和 6 年 9 月 4 日

別府大学

2024 年度 卒業生アンケート

はじめに

平成 30 年度にアセスメント・ポリシーの一環として、別府大学教育への「卒業生調査による『卒業後評価』」を把握するため、聴き取りによる卒業生アンケートを実施し、その結果をホームページ上に公開しています。

昨年に続いて 7 回目となる令和 6 年度の卒業生アンケートは 2017 年度、2019 年度、2021 年度の卒業生を対象に実施いたしました。

その結果、依頼に対して 143 件の回答が得られました。今回の調査は、学科ごとの DP 達成度などを測るには十分な標本数とはなりませんでした。別府大学全体の傾向を知る上では大変参考になる結果が出たと考えています。忙しい中、アンケートにご協力いただいた卒業生の皆様には、感謝申し上げます。

卒業生アンケート実施目的

大学におけるカリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーの整合性を検討するとともに、社会へ出る卒業生に必要となる社会人力と、専門課程での学びを結び、大学の教育の成果を測定するとともに、今後必要となるプログラム開発に資する目的で本調査を実施する。

1. アンケート実施方法

2024 年度の卒業生アンケートは、2017 年度、2019 年度、2021 年度の卒業生、1049 名を対象として実施した。

卒業生アンケートへの回答依頼は、回答依頼文書の郵送により実施した。

アンケートの実施は令和 6 年 8 月 2 日(金)～8 月 16 日(金)として、インターネット上に設置したアンケートへの回答により求めた。

2. 結 果

総回答数 143 件中 142 件を分析の対象とした。

142 件の内訳は 2017 年度卒業生 24 名、2019 年度卒業生 39 名、2021 年度卒業生 79 名であった。また、6 学科の各卒業年度における回答数を表1に示した。

学科\年度	2017年度	2019年度	2021年度	合計
国際言語・文化学科	2	2	10	14
史学・文化財学科	8	9	30	47
人間関係学科	4	4	6	14
食物栄養学科	7	12	13	32
発酵食品学科	1	1	8	10
国際経営学科	2	11	12	25
計	24	39	79	142

表 1. 6 学科における卒業年度別回答者数

「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問いに対する学科別の回答比率を集計し、図2に示した。学科における学びの満足度ではおおむねすべての学科で、普通まででとどまる傾向があったが、史学・文化財学科においてわずかながら満足できていないとする回答が見られた。大変満足している、満足しているまでの比率では、国際言語・文化学科、次いで発酵食品学科、人間関係学科の順となった。

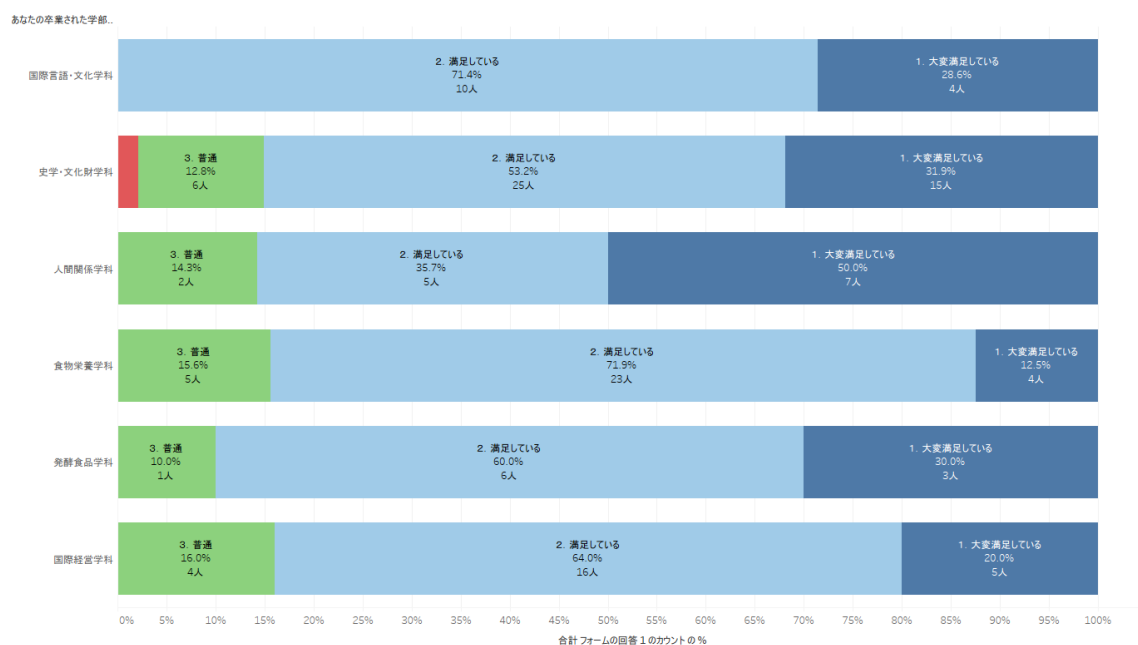


図 2. 「1.あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。」の学科別集計

「2. 別府大学で学んだ中で良かったところを 1 位から 3 位まで回答してください。」
「2-1. 別府大学で学んだ中で最も良かったところ」「2-2. 別府大学で学んだ中で 2 番目にも良かったところ」「2-3. 別府大学で学んだ中で 3 番目にも良かったところ」の問いについて、集計した結果を図3に示した。

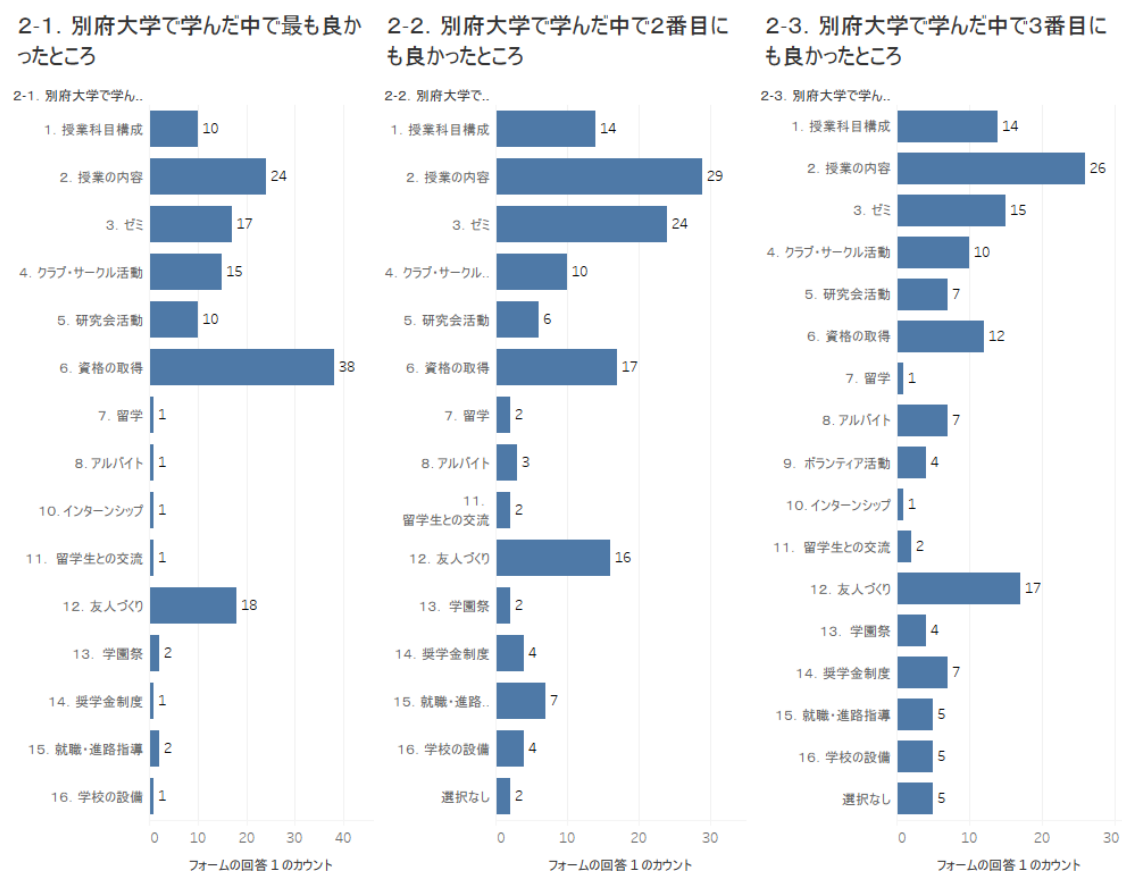


図 3.「2-1. 別府大学で学んだ中で最も良かったところ」「2-2. 別府大学で学んだ中で 2 番目にも良かったところ」「2-3. 別府大学で学んだ中で 3 番目にも良かったところ」の全体集計結果

卒業生の選択した別府大学で学んだ中で最も良かったところとして、資格の取得が特に多くの卒業生からの選択項目となった。2 番目にも良かったところとして、授業の内容が選ばれ、3 番目に良かったところとして、友人づくりが選ばれた。

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか。1 位から 3 位まで回答してください」

「3-1. 最も向上した知識・能力」「3-2. 2 番目に向上した知識・能力」「3-3. 3 番目に向上した知識・能力」について、集計した結果を図 4 に示した。

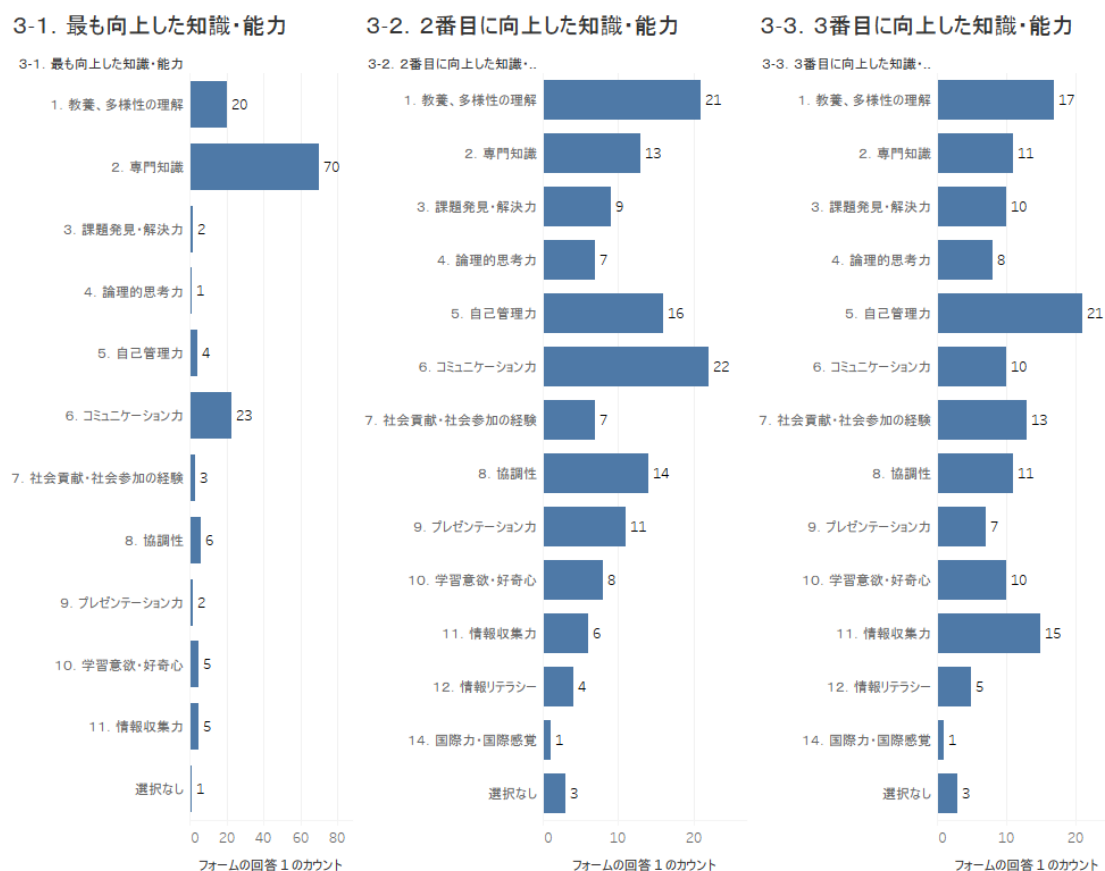


図 4.「3-1. 最も向上した知識・能力」「3-2. 2 番目に向上した知識・能力」「3-3. 3 番目に向上した知識・能力」の全体集計

卒業生の選択した在学中に最も向上した能力・知識として、専門知識が特に多くの卒業生からの選択項目となった。2 番目に向上した知識・能力として、コミュニケーション力が選ばれ、3 番目に向上した知識・能力として、自己管理能力が選ばれた。

「4. 就職してから社会人として必要と思われる知識・能力はどのようなことですか。1 位から3 位まで回答してください。」

「4-1.最も必要と思われる知識・能力」「4-2. 2 番目に必要と思われる知識・能力」「4-3. 3 番目に必要と思われる知識・能力」について、集計した結果を図 5 に示した。

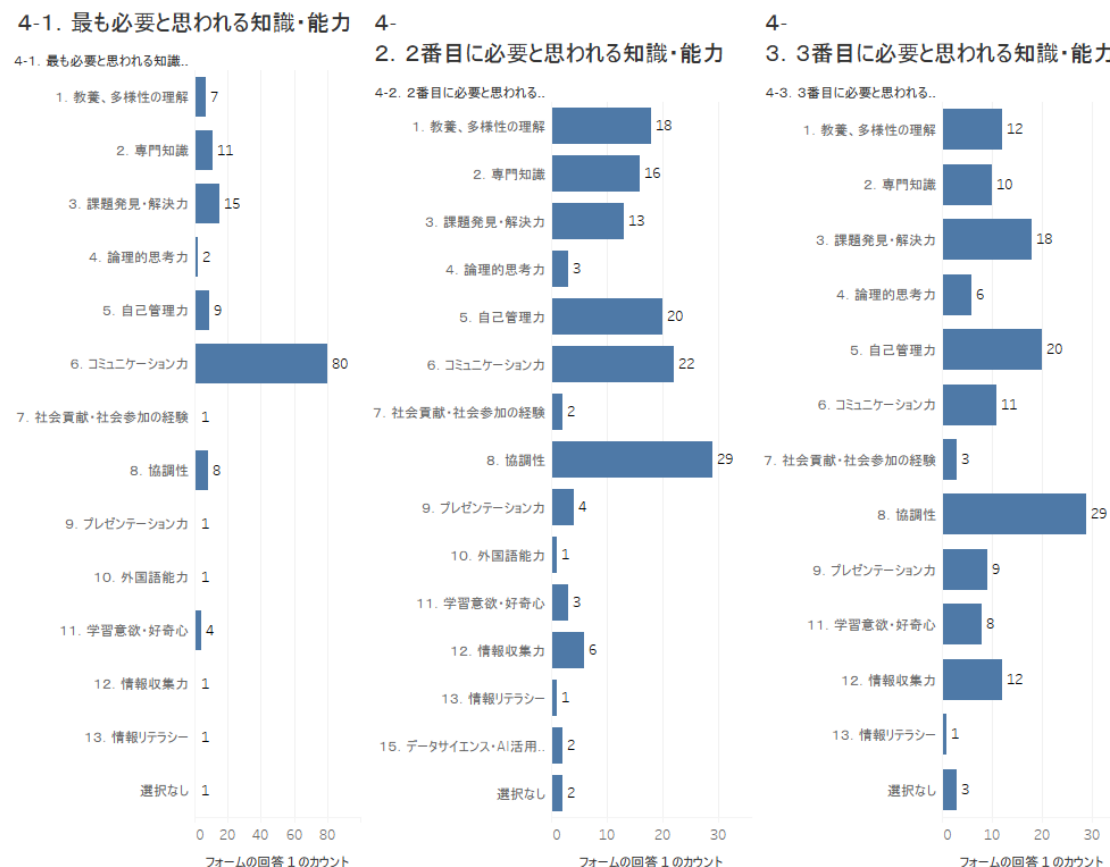


図 5. 「4-1.最も必要と思われる知識・能力」「4-2. 2 番目に必要と思われる知識・能力」「4-3. 3 番目に必要と思われる知識・能力」の全体集計

卒業生の選択した就職してから社会人として最も必要と思われる知識・能力として、コミュニケーション力が特に多くの卒業生からの選択項目となった。2 番目に必要と思われる知識・能力として、協調性が選ばれ、3 番目に必要と思われる知識・能力として、協調性が選ばれた。

「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。」の回答を全体集計及び各学科集計した結果を図 6 に示した。

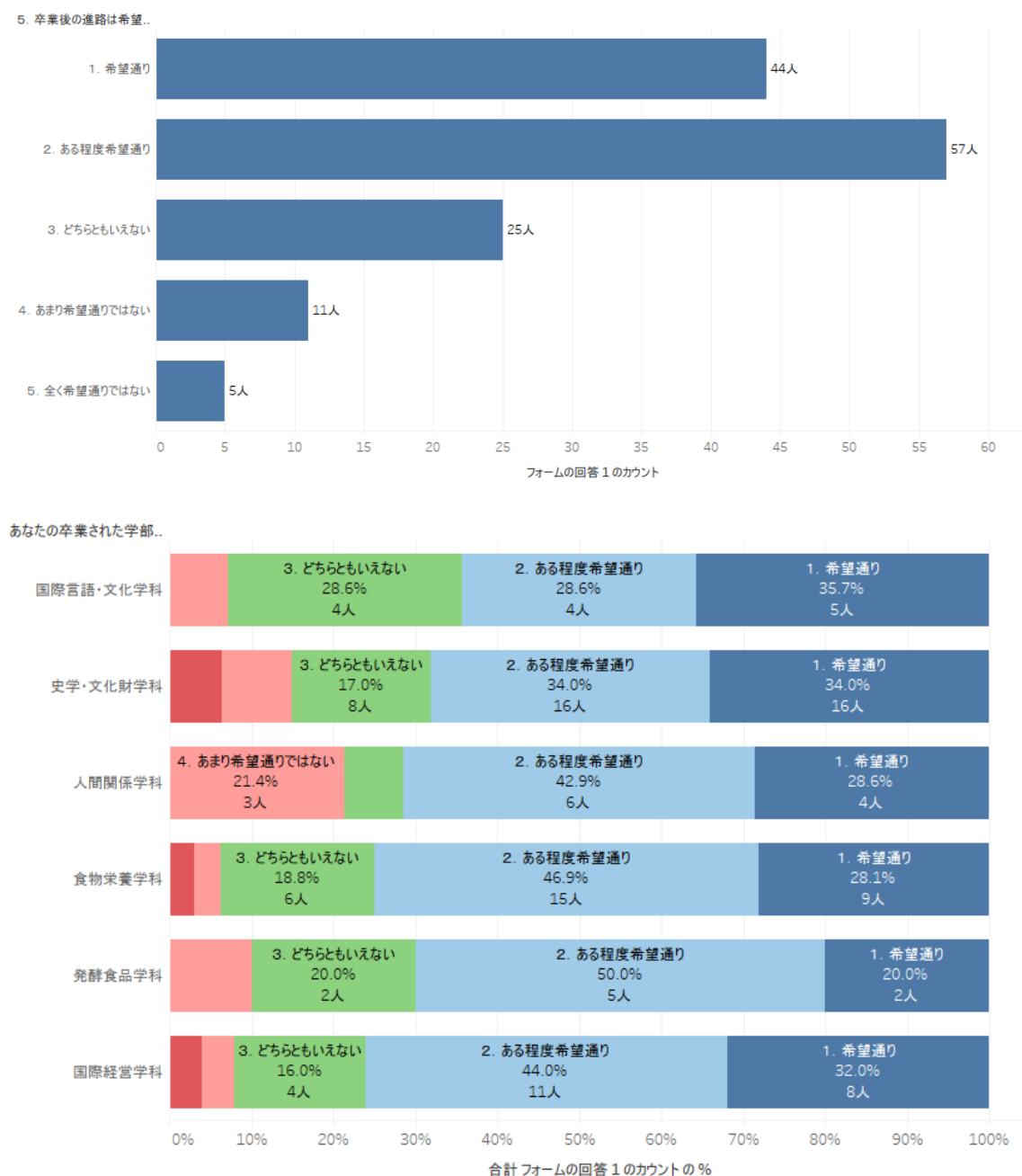


図 6. 「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。」の全体集計及び各学科集計

卒業後の進路については、全体の 70%は卒業生がある程度希望通りに進路を進めている一方、10%の卒業生は希望通りにはいかなかったと回答している。

「6. 大学生活で以下の知識・能力がどの程度身についたか、最もよくあてはまるものを選んでください。

「(1)幅広い教養・一般常識」(DP:教養)の全体集計及び各学科集計した結果を図 7 に示した。

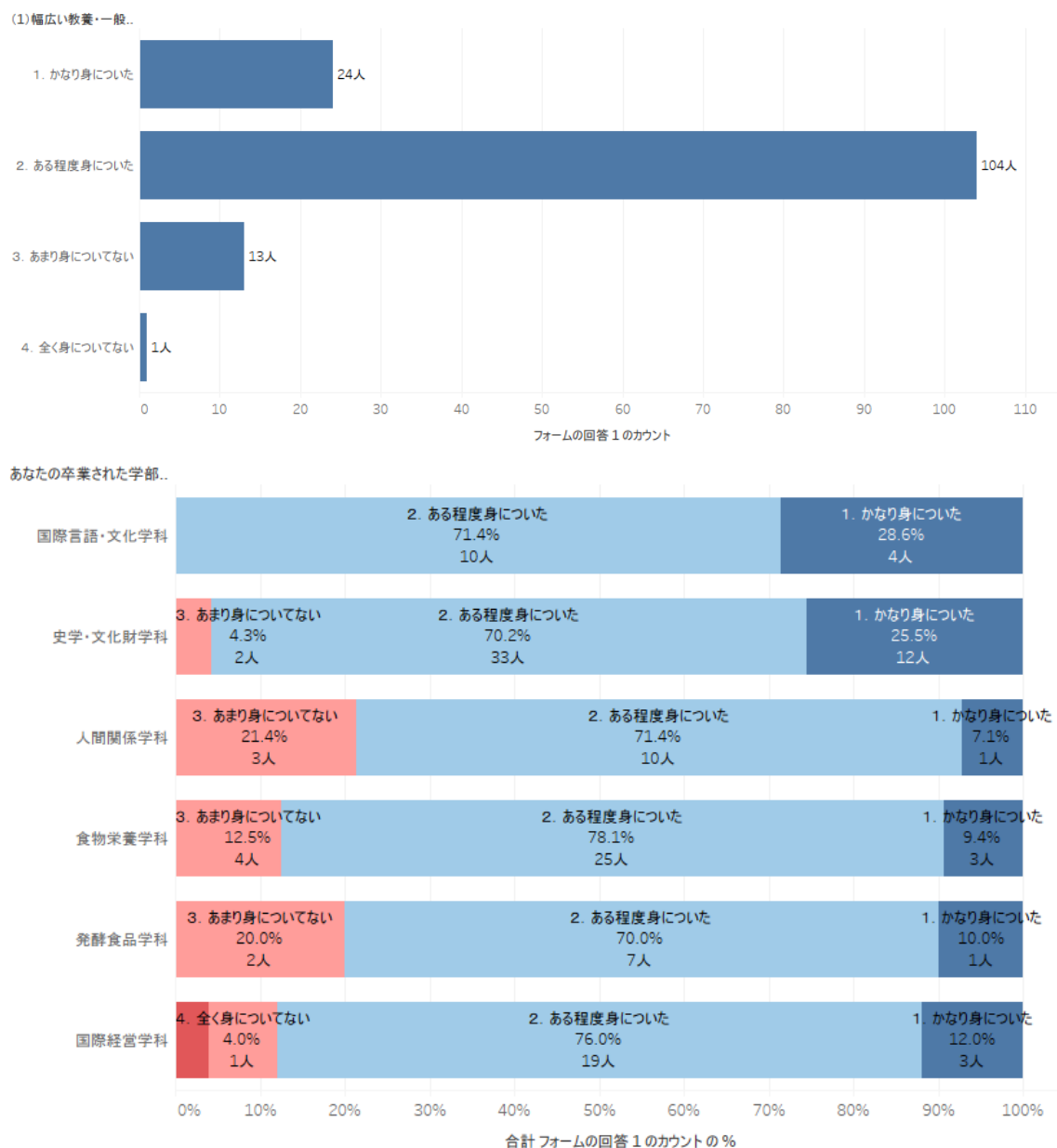


図 7.「(1)幅広い教養・一般常識」の全学科集計及び各学科集計

幅広い教養・一般常識について、大学全体では 90%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値になっている。

「(2)社会や文化の多様性を理解・尊重し、異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる」
(DP:教養)の全体集計及び各学科集計した結果を図 8 に示した。

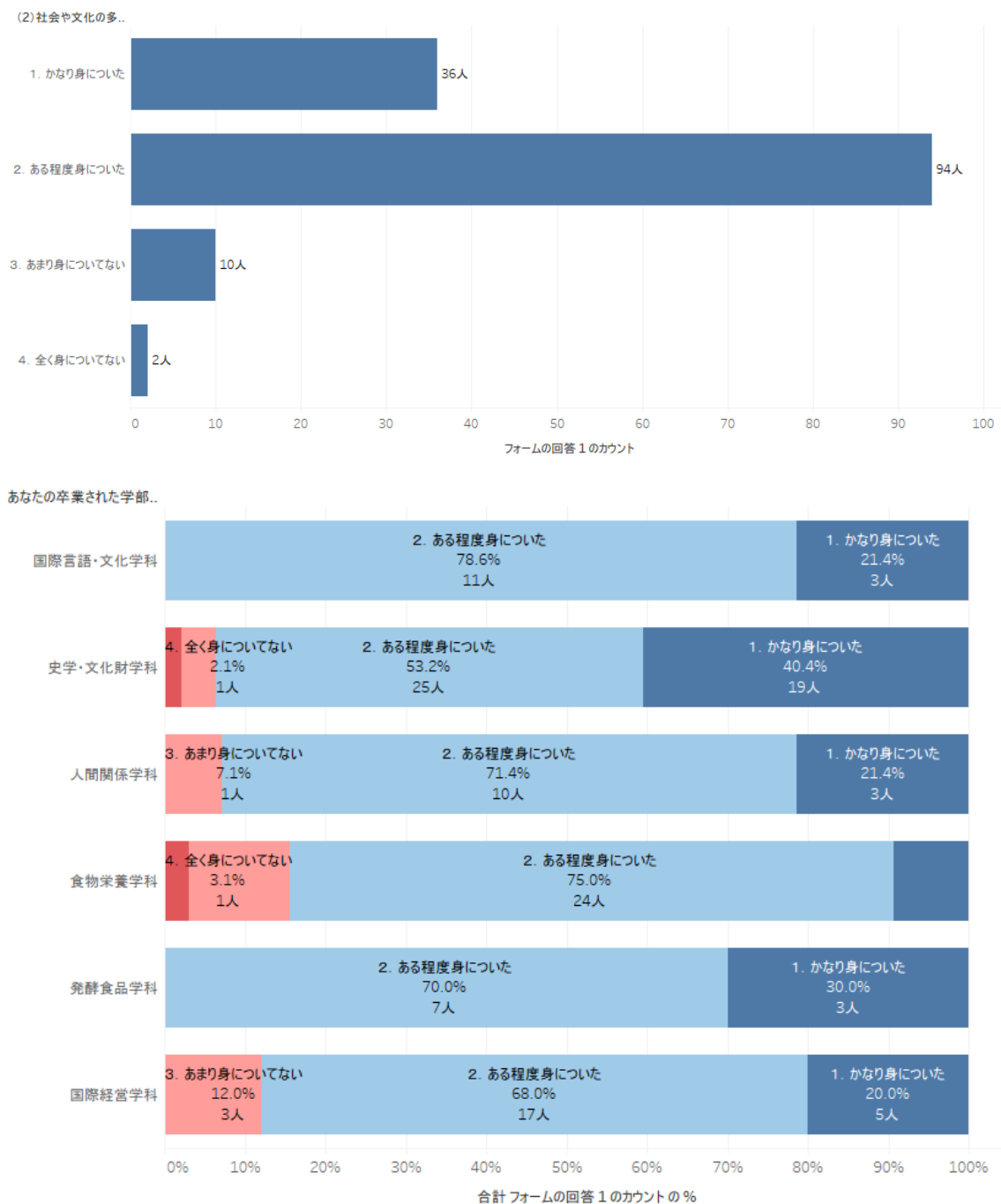


図 8.「(2)社会や文化の多様性を理解・尊重し、異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる」の全学科集計及び各学科集計

社会や文化の多様性を理解・尊重し、異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめるについて、大学全体では 91%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値になっている。

「(3)専門分野の基礎的な知識・技術」(DP:専門力)の全体集計及び各学科集計した結果を図9に示した。

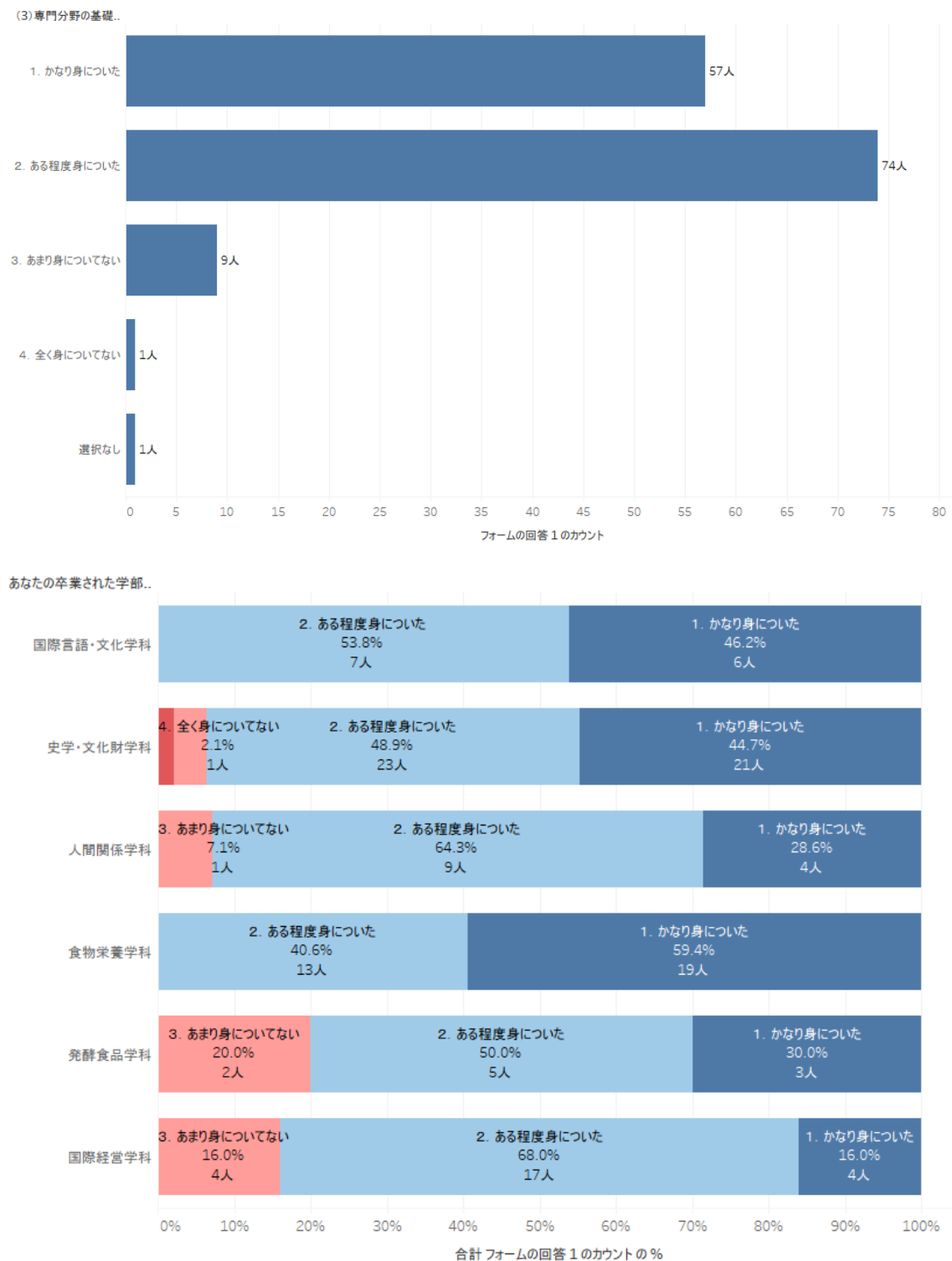


図9.「(3)専門分野の基礎的な知識・技術」の全学科集計及び各学科集計

専門分野の基礎的な知識・技術について、大学全体では92%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値になっている。

「(4)現状を分析し、問題点や課題を発見し、既存の枠にとらわれず、新しい発想やアイデアを出す」(DP:思考力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 10 に示した。

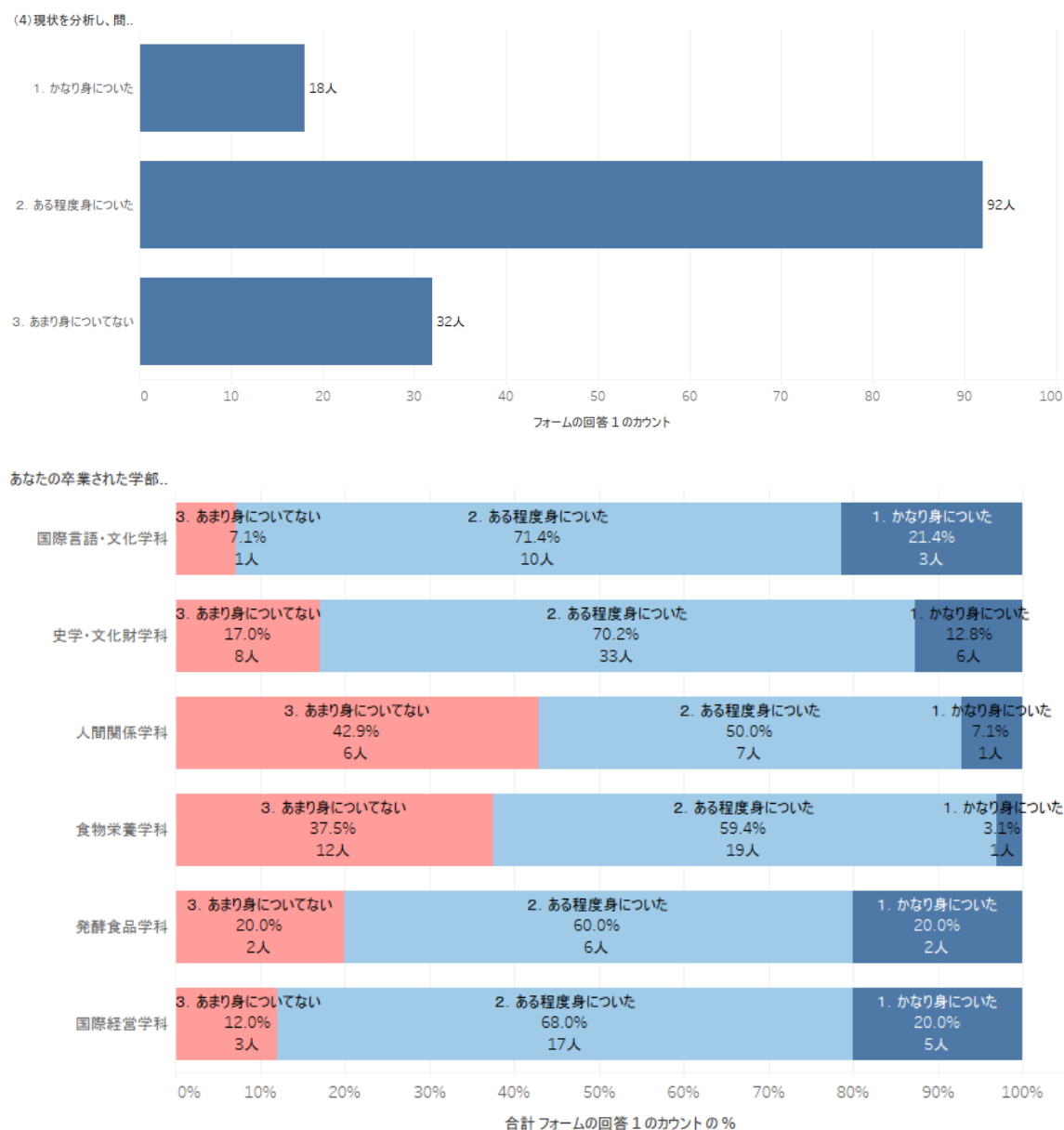


図 10.「(4)現状を分析し、問題点や課題を発見し、既存の枠にとらわれず、新しい発想やアイデアを出す」の全学科集計及び各学科集計

現状を分析し、問題点や課題を発見し、既存の枠にとらわれず、新しい発想やアイデアを出すについて、大学全体では 77%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科と食物栄養学科はやや低い数値となっている。

「(5)ものごとを批判的・多面的に考え、筋道を立てて論理的に文章化する、あるいは問題を解決する」(DP:思考力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 11 に示した。

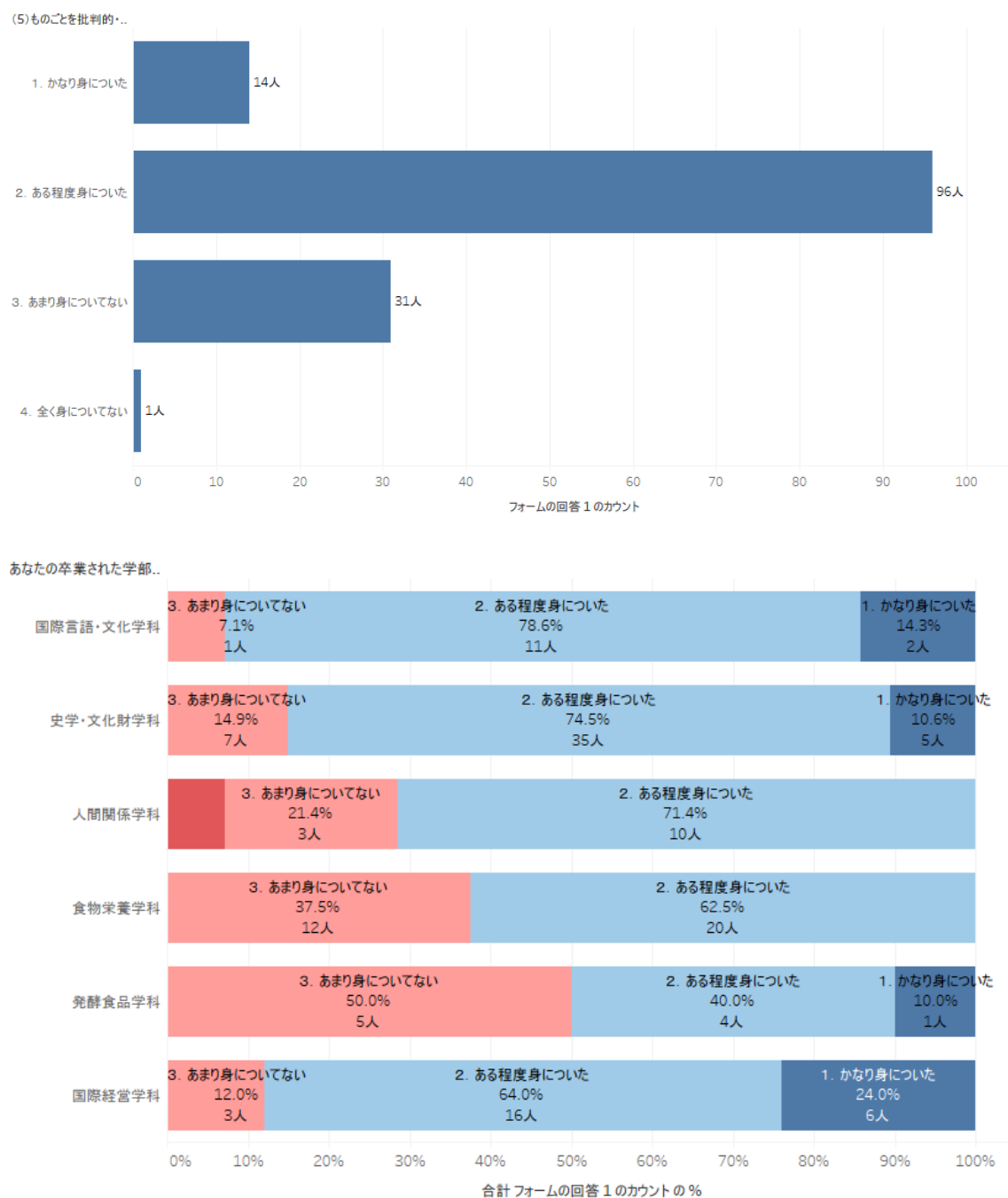


図 11.「(5)ものごとを批判的・多面的に考え、筋道を立てて論理的に文章化する、あるいは問題を解決する」の全学科集計及び各学科集計

ものごとを批判的・多面的に考え、筋道を立てて論理的に文章化する、あるいは問題を解決するについて、大学全体では 77%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科はやや低い数値となっている。

「(6)自分の適性や能力を把握し、自分の感情を上手にコントロールする、あるいは自分に自信や肯定感をもつ」(DP:実行力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 12 に示した。

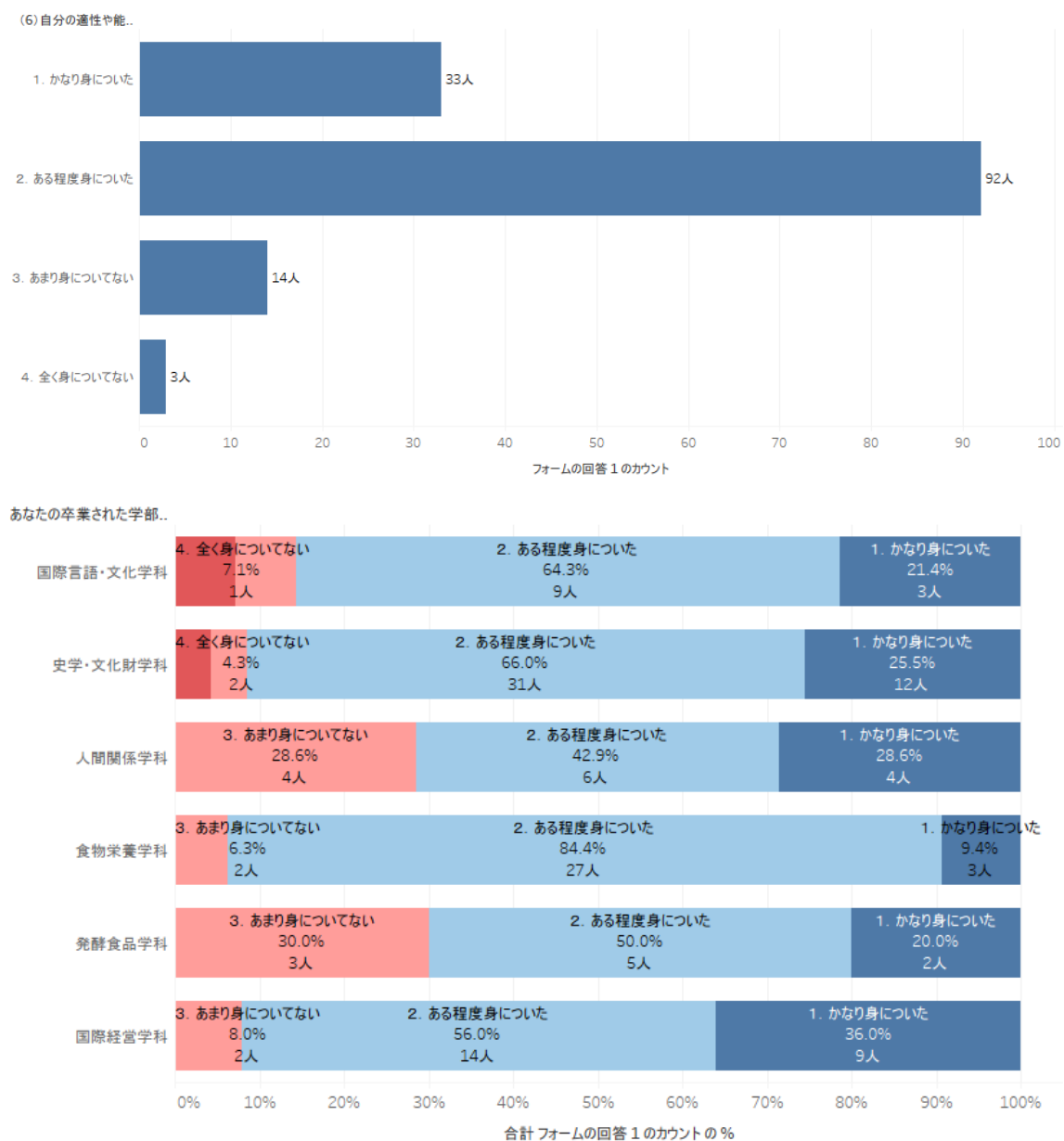


図 12.「(6)自分の適性や能力を把握し、自分の感情を上手にコントロールする、あるいは自分に自信や肯定感をもつ」の全学科集計及び各学科集計

自分の適性や能力を把握し、自分の感情を上手にコントロールする、あるいは自分に自信や肯定感をもつについて、大学全体では 88%の卒業生が、「ある程度身についていた」以上で回答している。全学科高い数値となっている。

「(7)自分で目標を設定し、計画的に行動する」(DP:実行力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 13 に示した。

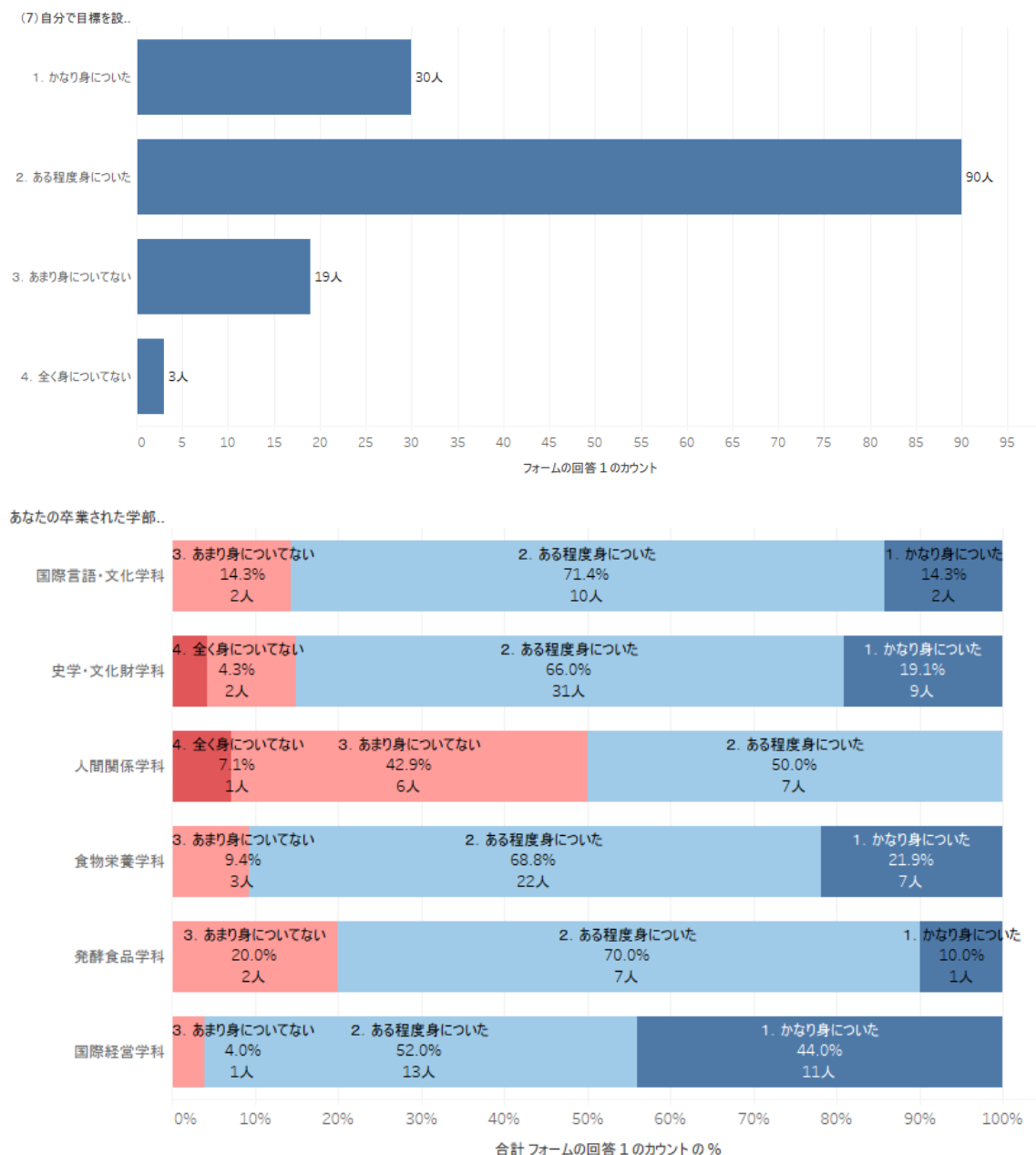


図 13.「(7)自分で目標を設定し、計画的に行動する」の全学科集計及び各学科集計

自分で目標を設定し、計画的に行動するについて、大学全体では 84%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値となっている。

「(8)自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる」(DP:実行力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 14 に示した。

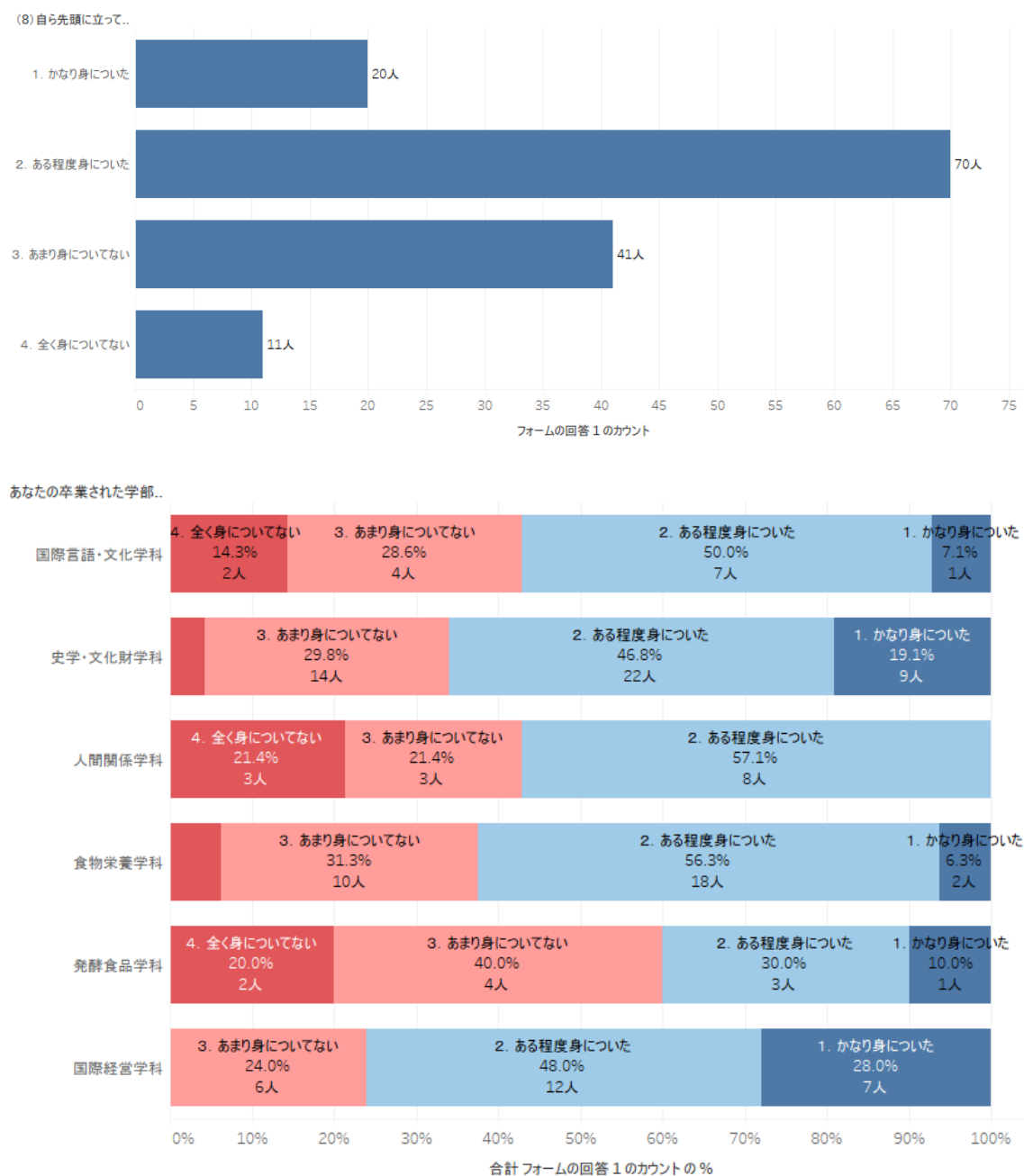


図 14.「(8)自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる」の全学科集計及び各学科集計

自ら先頭に立って行動し、グループをまとめるについて、大学全体では63%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科はやや低い数値となっている。

「(9)社会活動(ボランティア、NPO 活動などを含む)に積極的に参加する」(DP:実行力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 15 に示した。

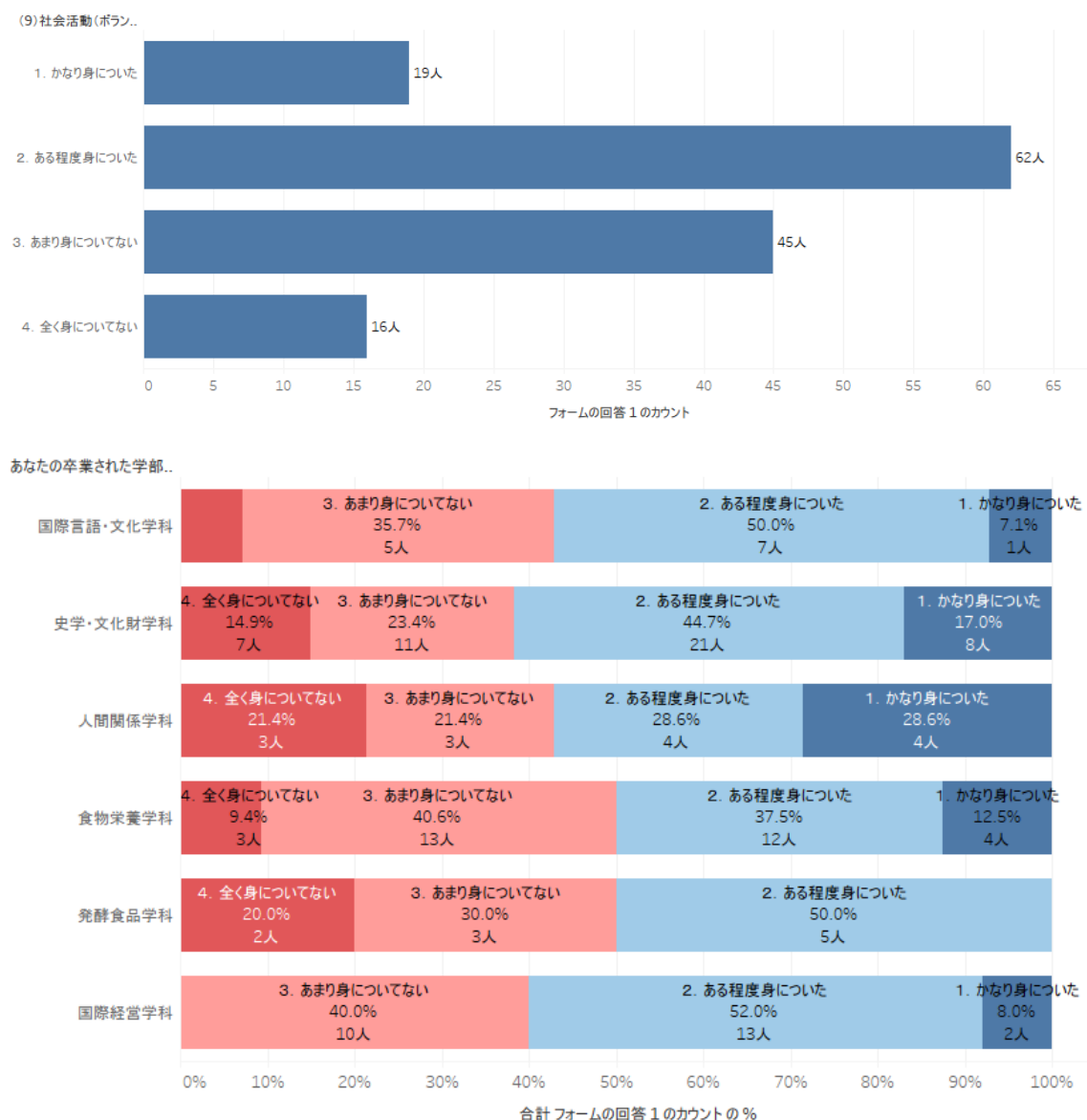


図 15.「(9)社会活動(ボランティア、NPO 活動などを含む)に積極的に参加する」の全学科集計及び各学科集計

社会活動(ボランティア、NPO 活動などを含む)に積極的に参加するについて、大学全体では 57%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科と発酵食品学科はやや低い数値となっている。

「(10)社会の規範やルールにしたがって行動し、人と協力しながらものごとを進める」(DP:実行力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 16 に示した。

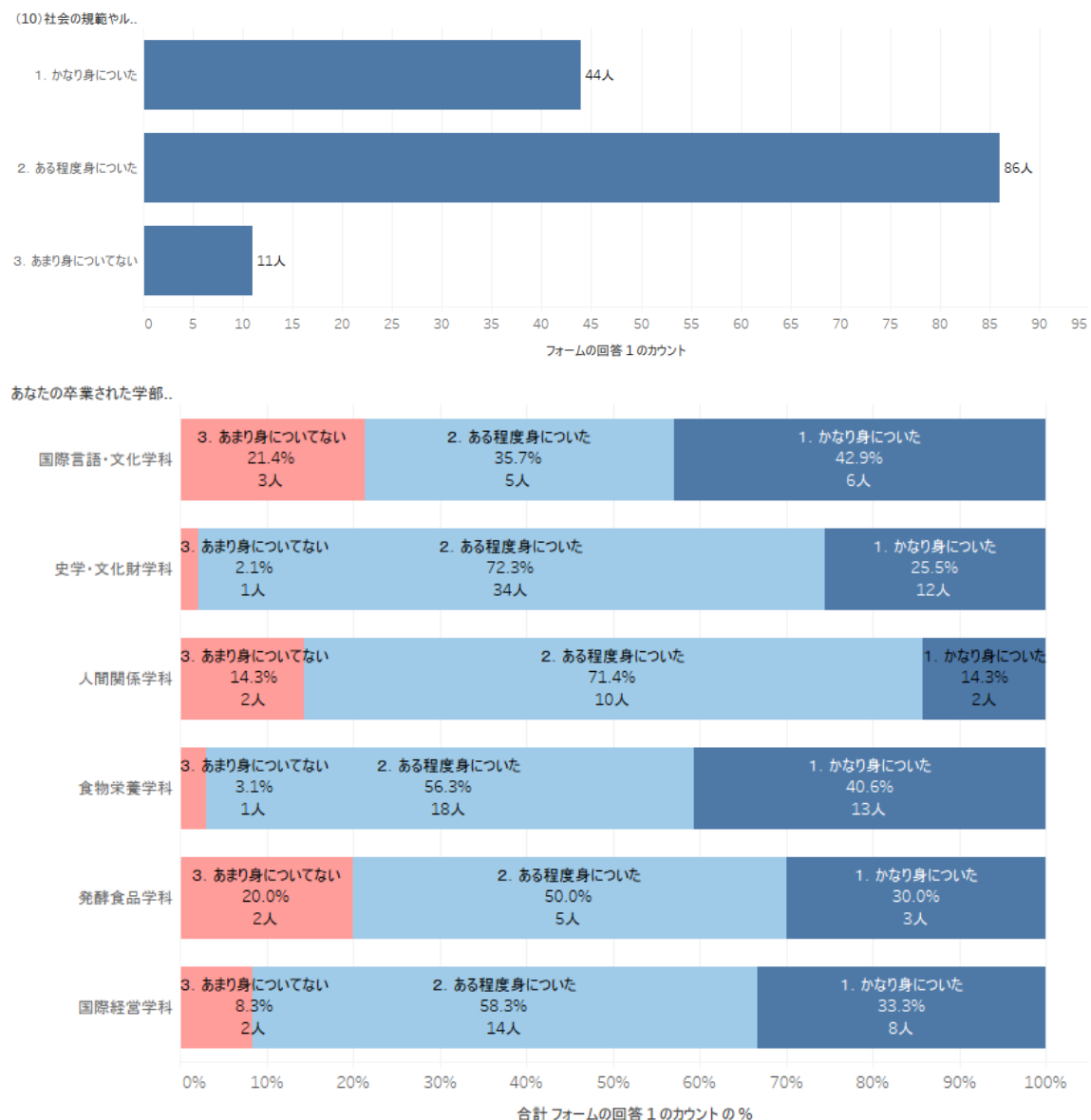


図 16.「(10)社会の規範やルールにしたがって行動し、人と協力しながらものごとを進める」の全学科集計及び各学科集計

社会の規範やルールにしたがって行動し、人と協力しながらものごとを進めるについて、大学全体では 92%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値となっている。

「(11)問題を解決するために、数式や図表・グラフを利用し、実験や調査を適切に計画・実施する」(DP:実行力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 17 に示した。

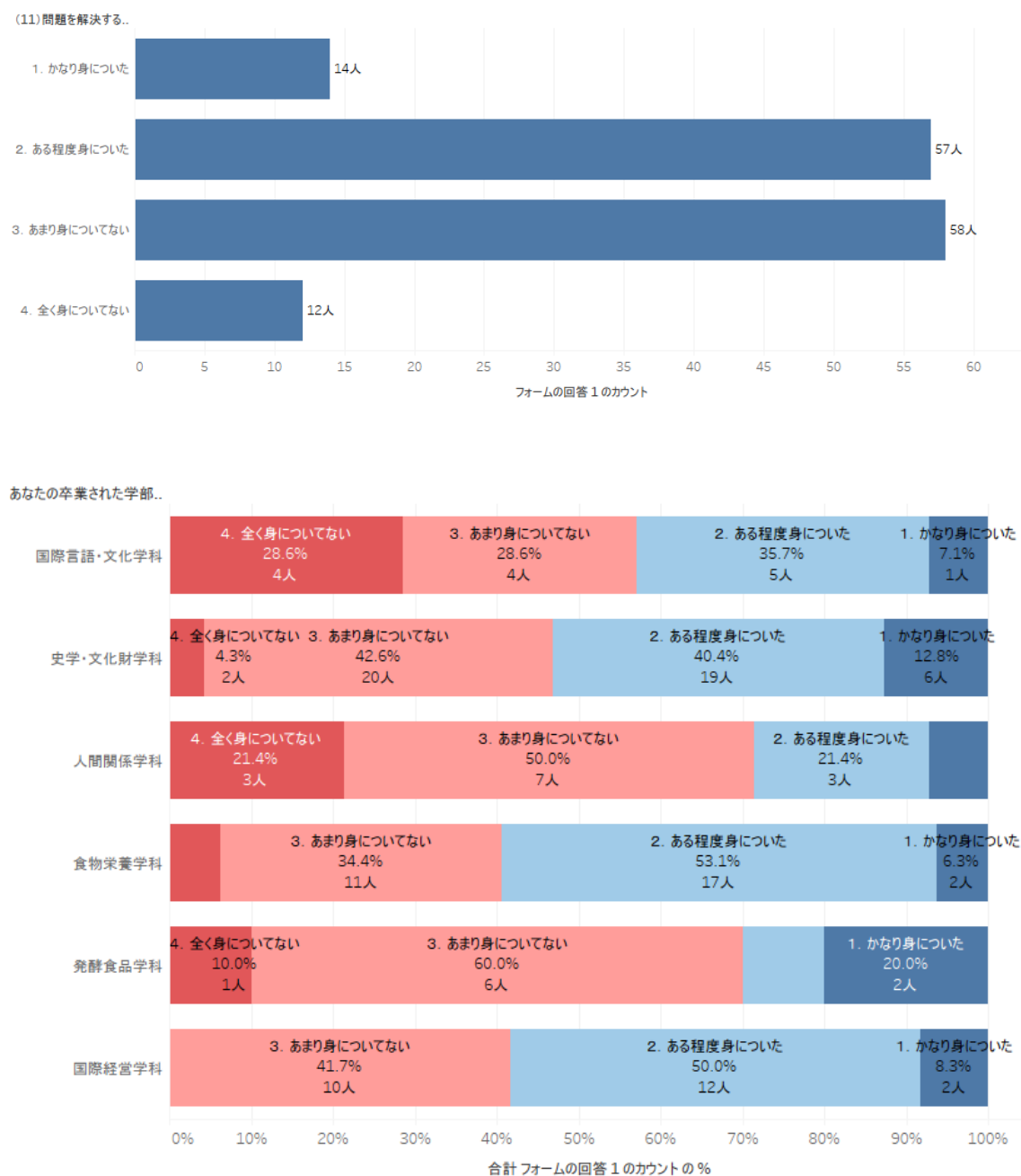


図 17.「(11)問題を解決するために、数式や図表・グラフを利用し、実験や調査を適切に計画・実施する」の全学科集計及び各学科集計

問題を解決するために、数式や図表・グラフを利用し、実験や調査を適切に計画・実施するについて、大学全体では 50%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科と発酵食品学科はやや低い数値となっている。

「(12)自分の知識や考えを図表や数字を用いて表現する」(DP:表現力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 18 に示した。

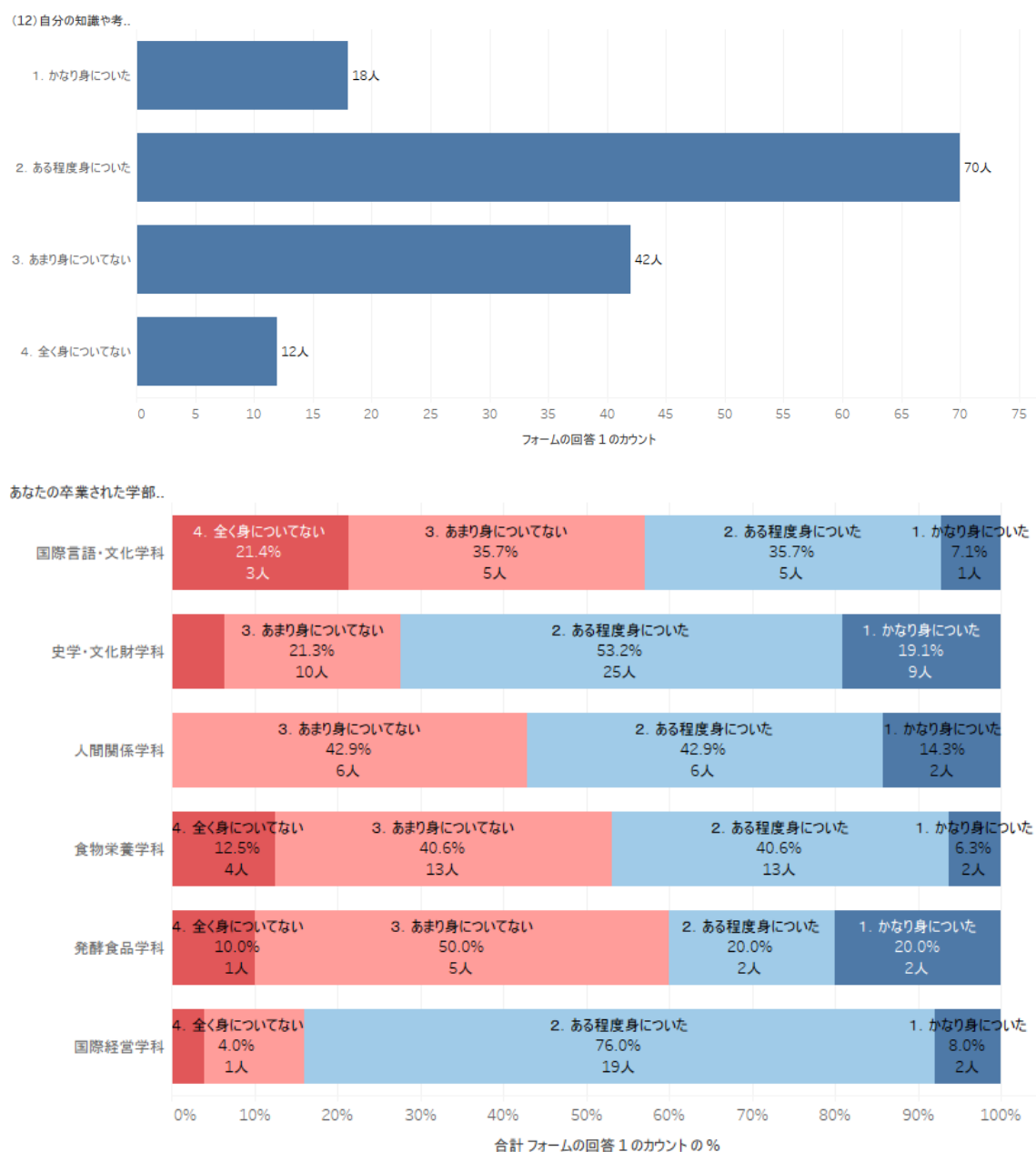


図 18.「(12)自分の知識や考えを図表や数字を用いて表現する」の全学科集計及び各学科集計

自分の知識や考えを図表や数字を用いて表現するについて、大学全体では 61%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際経営学科はやや高い数値になっている。また、国際言語・文化学科と発酵食品学科はやや低い数値となっている。

「(13)外国語で読み、書き、聞き、話す」(DP:表現力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 19 に示した。

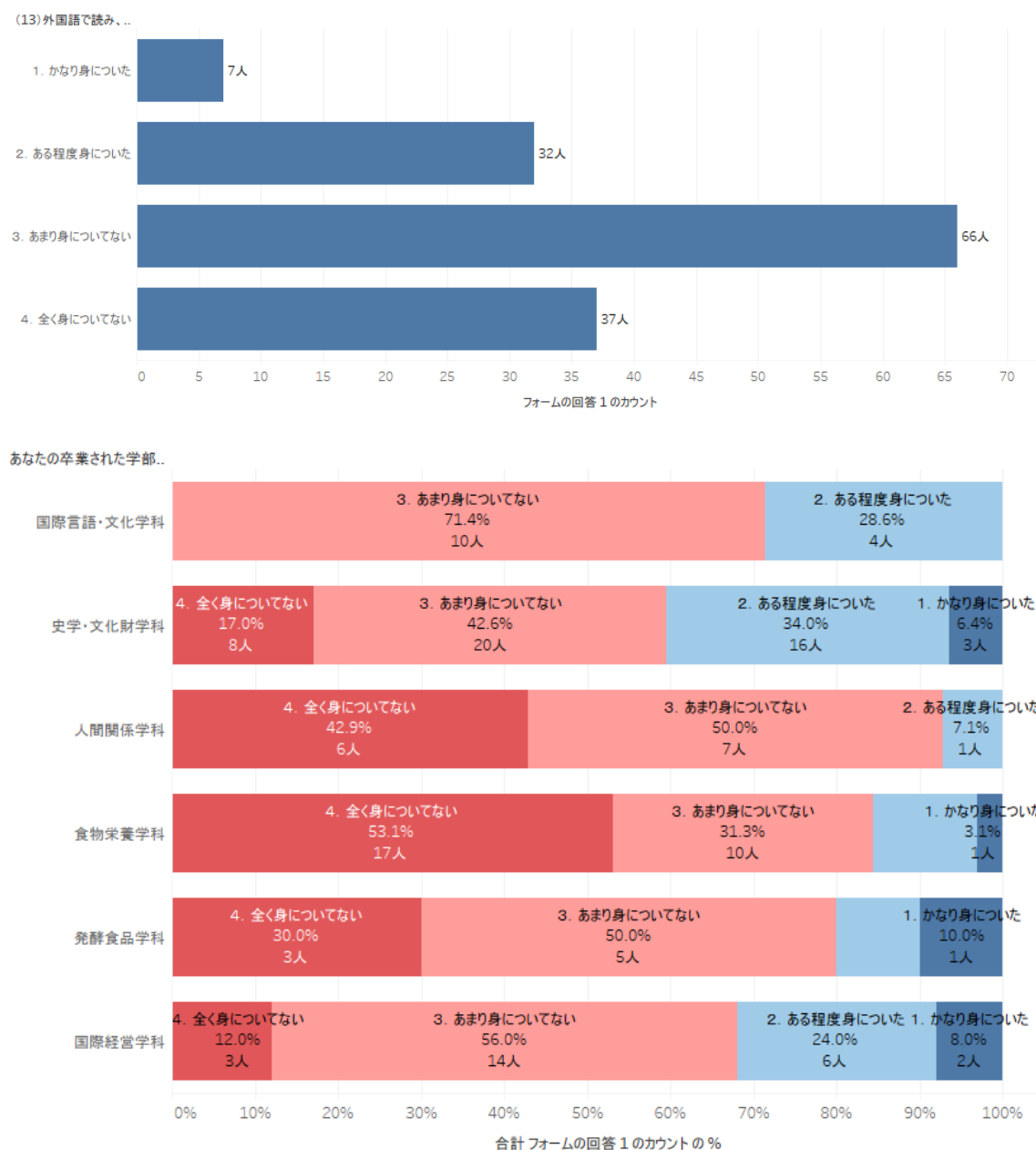


図 19.「(13)外国語で読み、書き、聞き、話す」の全学科集計及び各学科集計

外国語で読み、書き、聞き、話すについて、大学全体では 27%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科低い数値となっている。

「(14)進んで新しい知識・能力を身につけようとする」(DP:情報力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 20 に示した。

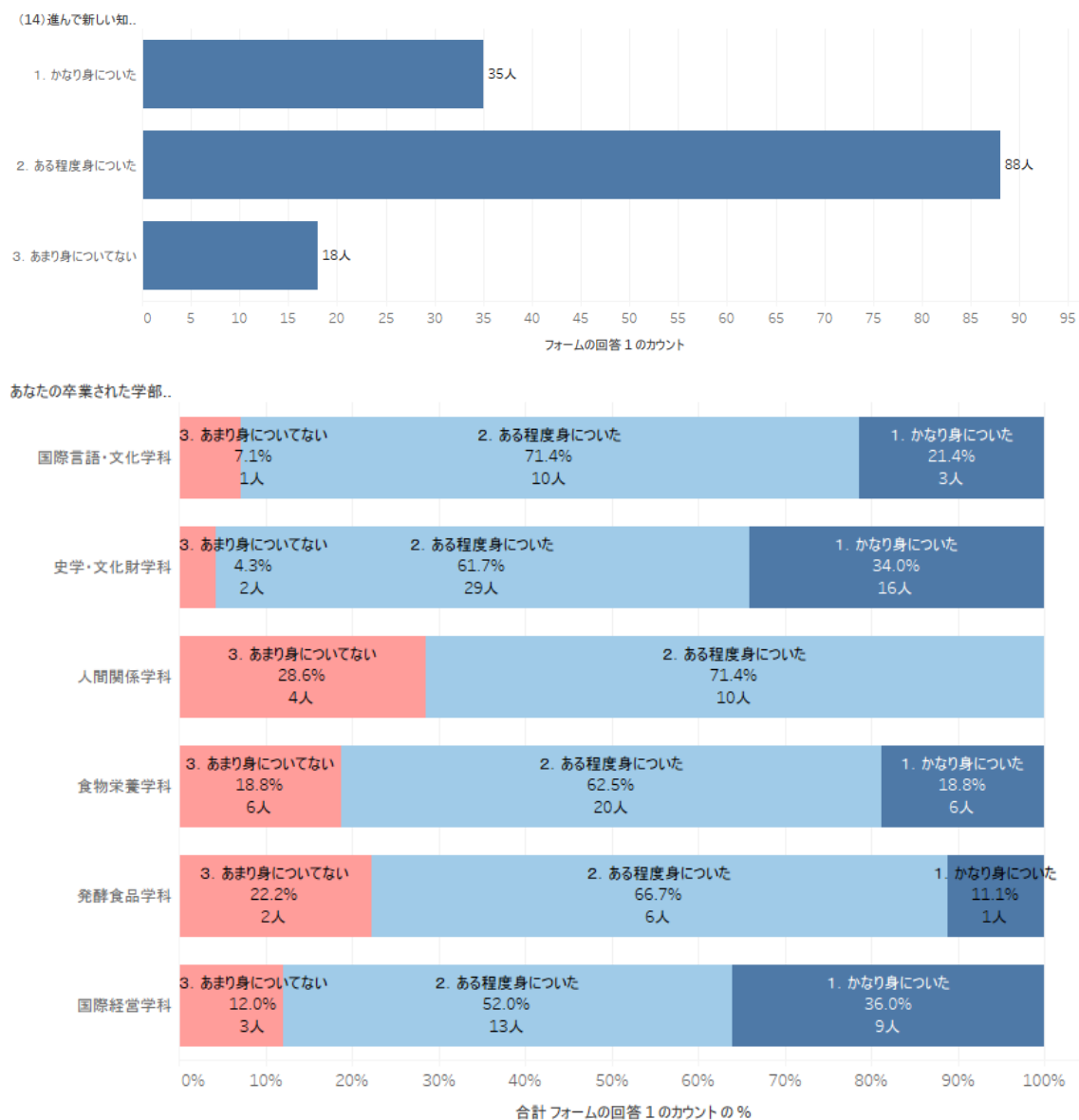


図 20.「(14)進んで新しい知識・能力を身につけようとする」の全学科集計及び各学科集計

進んで新しい知識・能力を身につけようとするについて、大学全体では 87%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値となっている。

「(15)多様な情報から適切な情報を取捨選択し、文献や資料にある情報を正しく理解する」
(DP:情報力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 21 に示した。

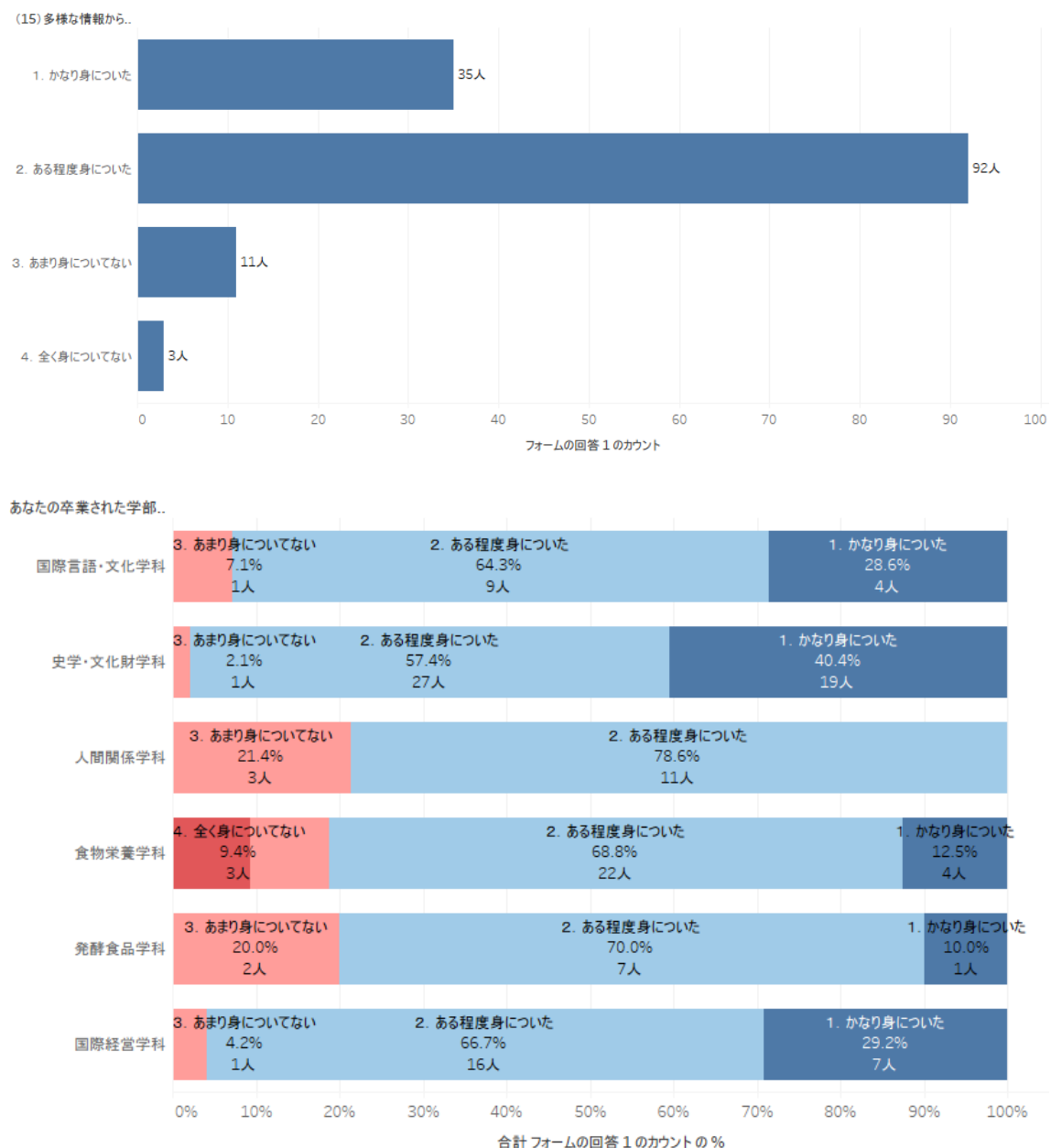


図 21.「(15)多様な情報から適切な情報を取捨選択し、文献や資料にある情報を正しく理解する」の全学科集計及び各学科集計

多様な情報から適切な情報を取捨選択し、文献や資料にある情報を正しく理解するについて、大学全体では 90%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値となっている。

「(16)コンピュータを使ってデータの作成・整理・分析する、文書・発表資料を作成し表現する」
(DP:情報力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 22 に示した。

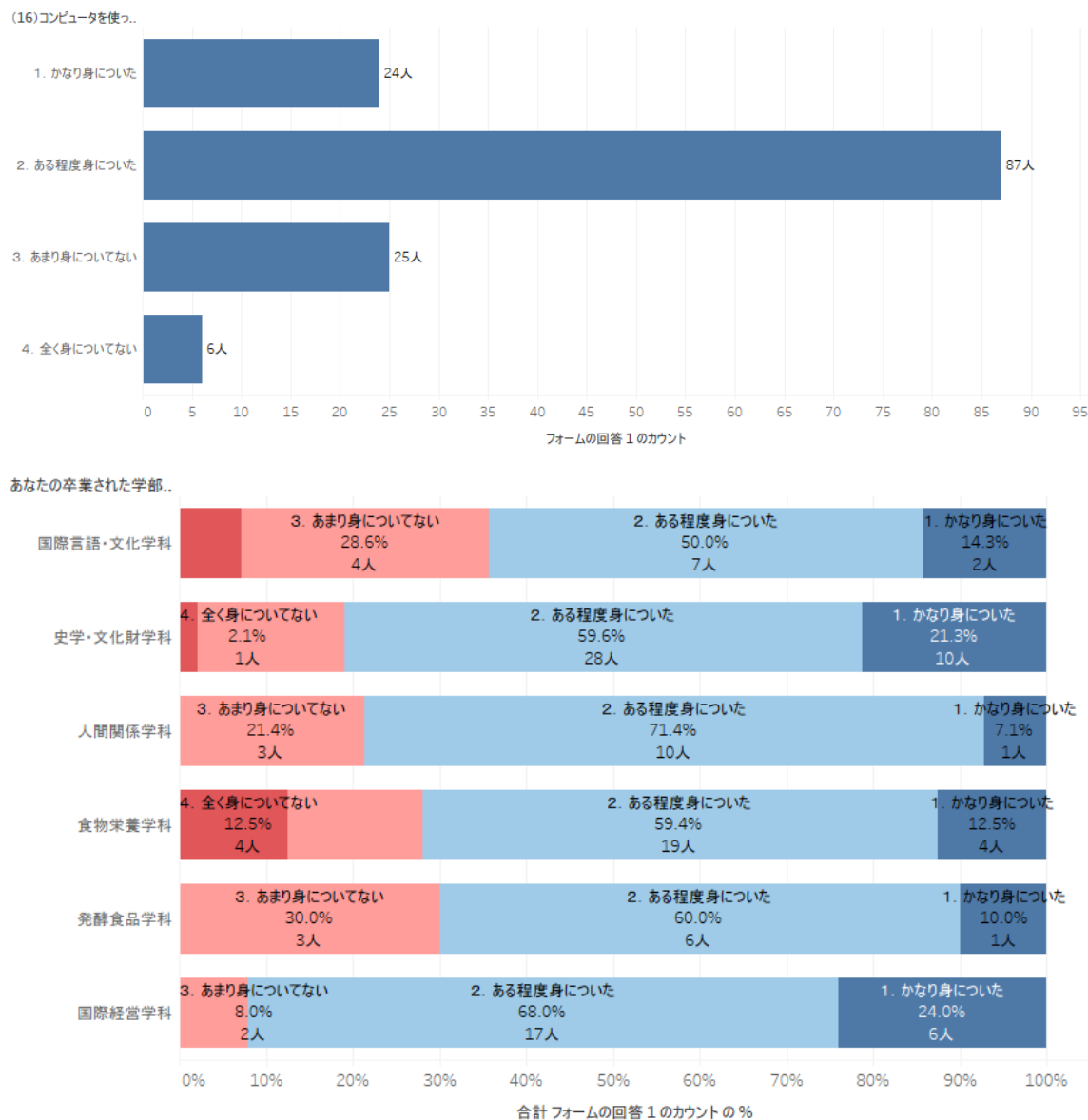


図 22.「(16)コンピュータを使ってデータの作成・整理・分析する、文書・発表資料を作成し表現する」の全学科集計及び各学科集計

コンピュータを使ってデータの作成・整理・分析する、文書・発表資料を作成し表現するについて、大学全体では 78%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際経営学科高い数値となっている。

「(17)国際的な視野」(DP:情報力)の全体集計及び各学科集計した結果を図 23 に示した。

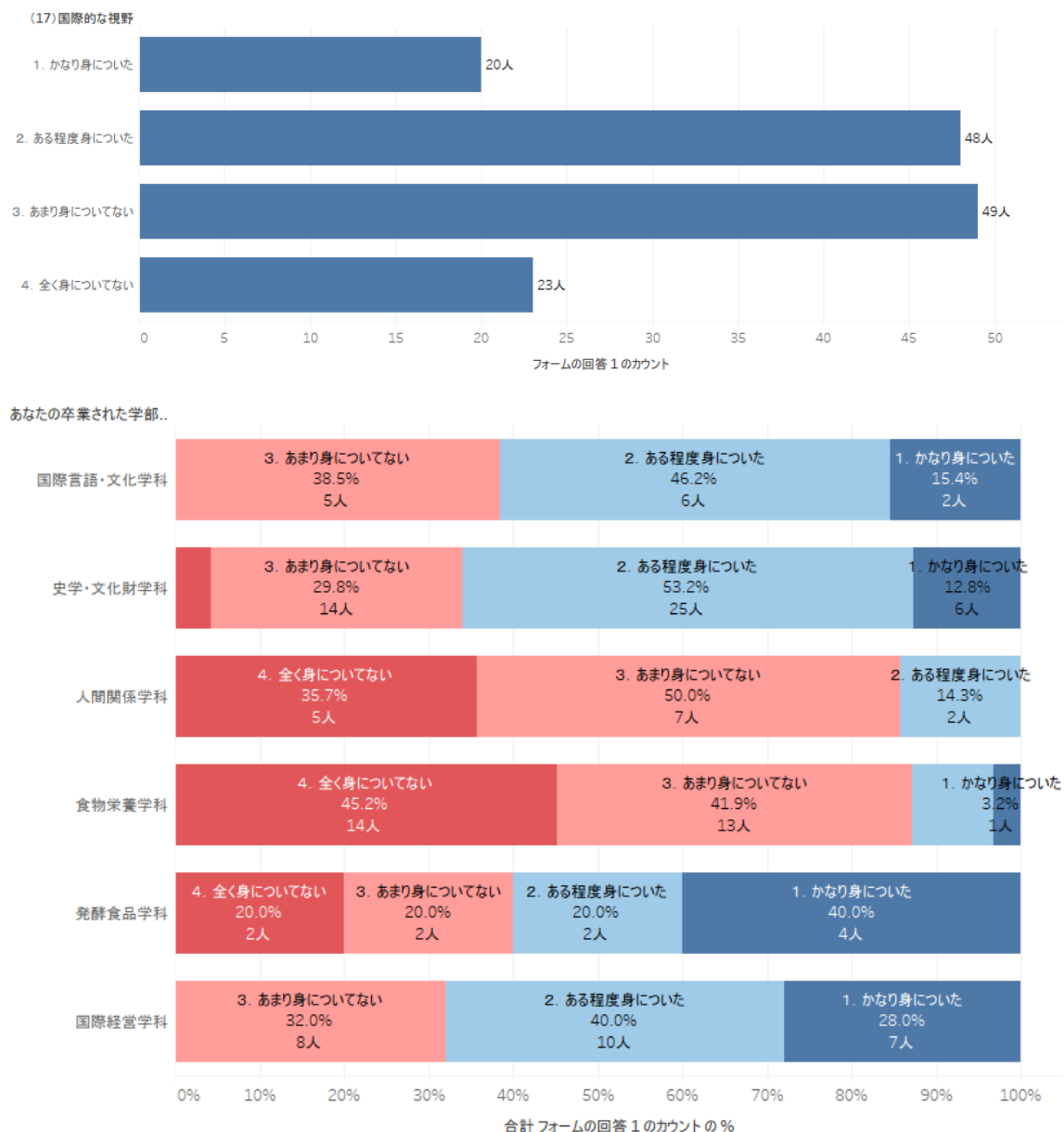


図 23.「(17)国際的な視野」の全学科集計及び各学科集計

国際的な視野について、大学全体では 48%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科や食物栄養学科は低い数値となっている。

「(18)データサイエンス AI 活用能力」の全体集計及び各学科集計した結果を図 24 に示した。

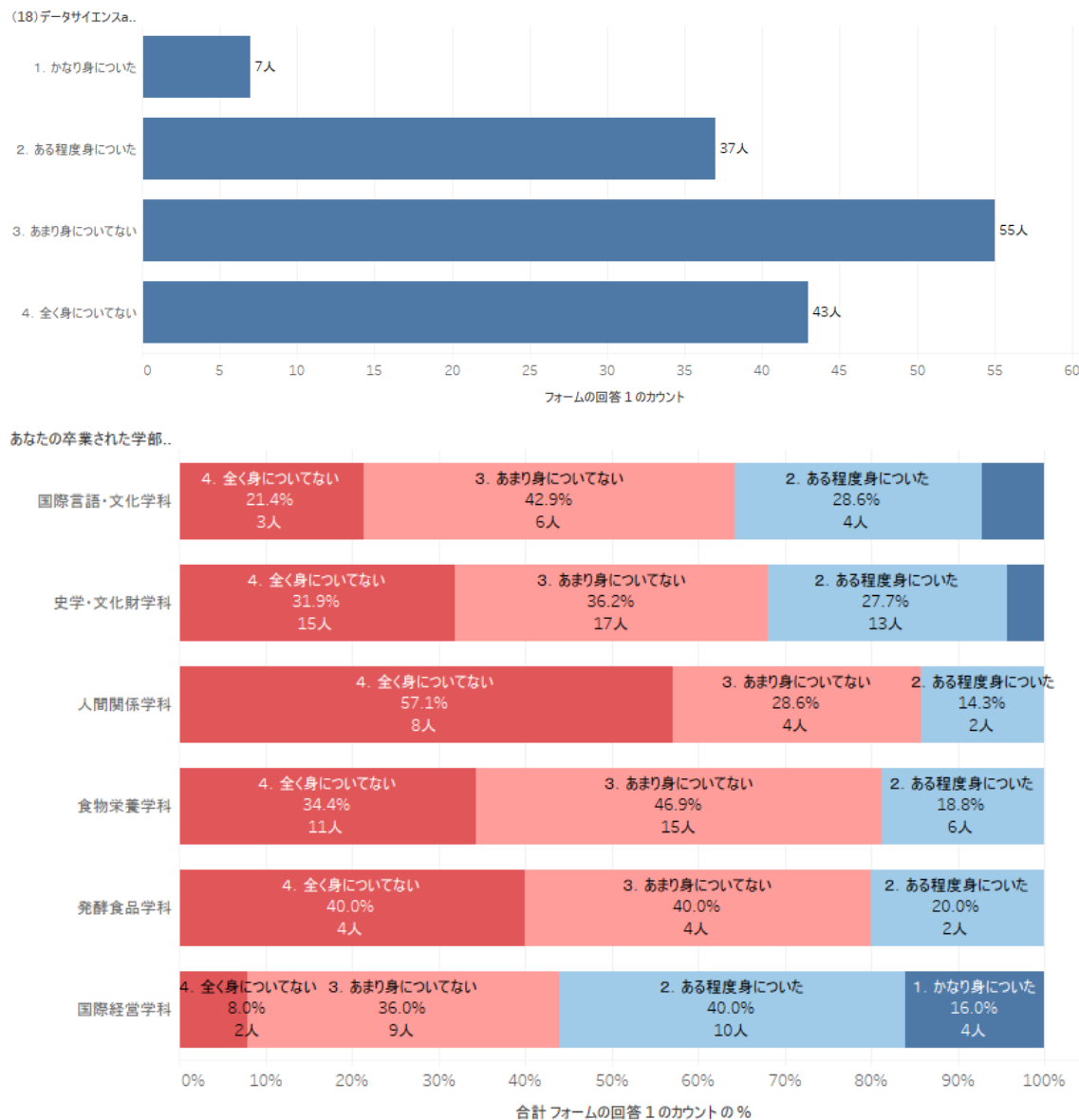


図 24.「(18)データサイエンス AI 活用能力」の全学科集計及び各学科集計

データサイエンス AI 活用能力について、大学全体では 30%の卒業生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科低い数値となっている。

「(7. 卒業論文、卒業研究時の制作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。)」の全体集計及び各学科集計した結果を図 25 に示した。

9. 卒業論文、卒業研究時の制作は、専門力、汎用力の点で仕..

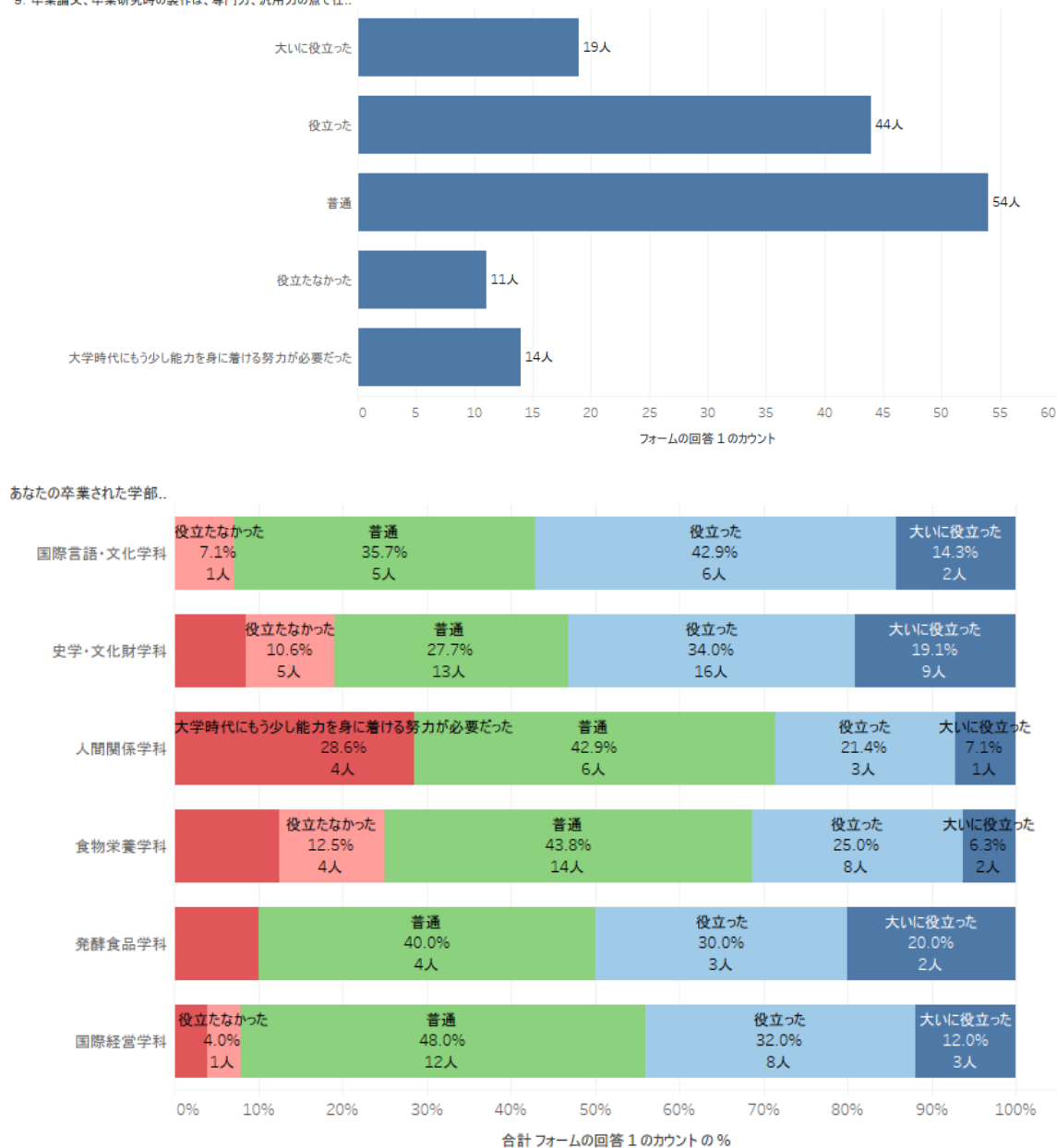


図 25.「7. 卒業論文、卒業研究時の制作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか」の全学科集計及び各学科集計

卒業論文、卒業研究時の制作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますかについて、大学全体では 44%の卒業生が、「役立った」以上で回答している。

考 察

近年、高等教育機関において学修成果を基軸にした教育の内部質保証が重要視されるようになってきている。令和 6 年度の卒業生アンケートでは、学修成果及びディプロマ・ポリシー(DP)の達成状況を把握しやすくするため調査項目の見直しを行い、大学生活で得た知識・能力がどの程度身についたかを問う項目を新たに追加した(p.8~25に掲載の 18 項目)。

本調査は、2017、2019、2021 年度の卒業生 1049 人を対象に実施した。回答総数は 143 件(回答率 13.6%)で、その内の 142 件を分析対象とした。昨年度の回収率 11%に比べ、わずかながら改善が見られたが、回答率は依然として低く、学修成果やディプロマ・ポリシー(DP)達成度を学科別に比較するには、十分な標本数を得られなかった。しかし、大学全体における卒業後の意識や動向を把握する上では、参考となるデータが得られた。今後、回答者数を増やすためには、在学中から大学への帰属意識や母校愛を醸成するような取り組みが求められる。

内訳を見ると、「1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか」の問いに対しては概ねすべての学科で大変満足している、満足している比率が高く、国際言語・文化学科、発酵食品学科、人間関係学科で高い傾向にあった。

次に「2. 別府大学で学んだところで良かったところを 1 位から 3 位まで回答してください。」では、1 位には資格の取得、2 位には授業の内容、3 位には友だちづくりが選ばれた。1 位~3 位で最も選ばれた項目を高い順にあげると授業の内容 79 人、資格の取得 67 人、友だちづくり 51 人であった。これらの項目は問い方が異なるものの、昨年度の調査結果でも上位にランクされており、本学の教育内容とそれに付随した様々な免許・資格を取得できる教育プログラムが卒業生に評価されているものと考えられる。

「3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか。1 位から 3 位まで回答してください。」では、1 位には専門知識が 70 人と昨年と同様、圧倒的に選ばれており、2 位にはコミュニケーション力(22 人)、教養・多様性の理解(21 人)をあげる卒業生が多く、3 位は自己管理能力(21 人)となった。コミュニケーション力、教養・多様性の理解や自己管理能力などの知識・能力は大学の教育のみならずアルバイトやサークル活動等を含めた学生生活全般を通じて培われたものと思われるが、専門知識はもとより、コミュニケーション力や教養・多様性の理解についてはアクティブラーニング型や PBL 型授業の導入、教養教育が一定の効果をあげていることがうかがえる。

「4. 就職してから社会人として必要と思われる知識・能力はどのようなことですか。1 位~3 位まで回答してください。」では、コミュニケーション力を 1 位にあげた卒業生が 80 人と圧倒的に多く、2 位に協調性(29 人)、3 位も協調性(29 人、次点自己管理能力 20 人)が選ばれた。これらは一般に社会人に必要な知識・能力として上位にあげられることは想像に難くないが、卒業生が実感していることから就職オリエンテーションや進路ガイダンス、キャリア教育等を利用して在学時にしっかりと認識させる必要がある。

「5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか」という質問に対して、全体の約 71%が肯定的な回答を寄せ、昨年度 66.4%と比較して希望通りの進路に進んでいる卒業生が増加した。この結果は、本学におけるキャリア支援の強化や、社会全体の就職状況の改善などが要因として考えられる。

一方で、約 11%の卒業生が「あまり希望通りではない」または「全く希望通りではない」と回答

しており、否定的な回答も一定数存在した。この割合は昨年度より 3 ポイント増加したが、「全く希望通りではない」と回答した学生の割合は若干減少している。今後は、キャリア相談のさらなる充実、再就職支援プログラムの導入など、希望通りの進路に進めていない学生に対する支援を強化することで、彼らのキャリア形成をサポートすることが重要と考える。また大学教育の中で、より早い段階からキャリア教育を充実させ、学生が自分の適性や興味関心を理解し、将来のキャリアを設計できるよう支援を強化する必要がある。

本調査では、学生の学修成果と DP の達成度をより詳細に把握するため、「6. 大学生活を通じて、以下の知識・能力がどの程度身についたか」という質問項目において、18 の新たな項目を追加し、選択肢を 4 段階評価（「かなり身についた」、「ある程度身についた」、「あまり身につけていない」、「全く身につけていない」）とした（p. 8～25 に結果掲載）。

今回の調査では、幅広い教養・一般常識、社会や文化の多様性への理解、専門分野の基礎知識・技術、自分の感情のコントロール、目標設定と計画的な行動、社会の規範やルールへの順守などの項目で卒業生から高い評価を得た。これらの結果は、本学の教育が学生の知識基盤の形成や社会人に必要な基礎能力の育成に貢献していることを示したものと考えられる。一方、外国語能力、データサイエンス AI 活用能力など、一部の項目では卒業生からの評価が低かった。現代社会において国際的な視野やデータサイエンスに関する能力は重要になっており、外国語教育及びデータサイエンス AI 活用能力についてはさらに充実させる余地のあることが示唆された。

「7. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか」という質問に対し、大学全体で「大いに役に立った」と回答した学生が 19 人（13.3%）、「役立った」と回答した学生が 44 人（31%）となり、合わせて 44% の学生が肯定的な回答を寄せた。昨年度の調査では、肯定的な回答は 33.9% にとどまっていたが、今年度は約 10 ポイント増加し、卒業論文等で培った能力が、卒業後の仕事や生活に活かされていると実感している学生がわずかながら増えている。ただし、「普通」と回答した学生が最も多く、54 人（38%）を占めており、卒業論文等で培った専門力や汎用力が、卒業後の実生活に直接結びつく場面が少ないと感じる学生も一定数いることが示された。

なお、以下に資料として提示した 8 の設問（自由記述）については、具体的な指摘や示唆に富む内容が多く、各学科等においても参考にして今後の改善に大いに役立てていただきたい。

資料

「8. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください(自由記述)」

※自由記述については、個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

【国際言語・文化学科】

- コミュニケーション力 協調性 プレゼンテーション能力。
- 論文やレポートを書く際に、情報源や出典元を意識し、それらをまとめて記す癖がついたこと。時間がある場合に、予め自分の考えをまとめておいた上で相手に伝えるという術を身につけたこと。(関係ないことで恐縮ですが、卒業年度の選択肢から20年、22年度が抜けているように思います。私は22年度卒業だったように思います。)
- 新たな知識、友人との交流、アルバイト等での社会経験を通して、自らの新たな知見を得て、成長することが出来た。
- 自分のスキルを高めるために目標を立て、行動し、結果が身についたこと。大学という環境で、自分と異なる考えを持つ人と関わり、俯瞰して物事を見る力が身についた。
- 入学1年目のアイルランド研修への参加では普段と異なる環境へ身を置くことで、環境への適応力や単独状態での問題解決の模索、また様々な文化への興味関心を深めることができた。
- 漫画専門コースでの実践的な授業。

【史学・文化財学科】

- 野外調査全般。
- サークル活動の経験は社会に出てとても役に立っている。
- 私は〇〇先生の院生であったが、先生の教えを踏まえて「軍歌史」の民俗学的体系化をなし得るきっかけを得たことは、まさに自身の知見を広めるに大なる成長であったと考える。
- 年齢の幅をこえた交流。
- 県外からの一人暮らしで大学に通っていたので、一人で生活を回していくことの大変さを学びました。今まで家族に支えられていた事は当たり前ではないと感じ、相手に対して常に感謝の気持ちを持つことは大事だなと思いました。
- 好きだった歴史を趣味で終わらせるのではなく、ちゃんと専門知識として学んで、それを身に付けたこと。
- 多々あります。学科や資格関連の授業から専門的知識やコミュニケーション力、学外活動や課外活動を通して、まとめる力、人間性などが成長できた。熱心で親身な先生が多く、楽しく過ごせた。合わせて相談がしやすく、卒業しても大学へ来訪したいと思う。なにか、大学のイベントや研究会などありましたら、教えていただけるとありがたい。
- 高校生の頃までは、与えられた課題や目標に対して答えを見つけていたが、大学生になって卒論やゼミの発表を通して、自分で見つけた課題や目標に対して答えを考えるようになり、物事を多様な側面から見つめて考えることの大切に気付くことができ成長できたと思う。また、教授や同じゼミの人たちの発表を聞くことで、伝え方の部分でも成長でき

たと思う。

- 生涯教育論の小学校での実習。当時は教員の適性がないと諦め、それでも未練がありながらこの授業を選択したのだが、自分が好きなのは『子供と同じ目線で遊ぶ』ことであり、『子供を先達として教え導く』ことは向き不向き以前に好きでないことに気づき、ようやく諦められた。成長できたと思う経験としては微妙だが、『夢に折り合いをつけられた』という点においては成長とも言えなくもないので書いた。参考にするかは好きにされたし
- 古文書の解説の知識が漢文を読むのに役に立った。
- 現在の仕事をしていると、文章作成能力や語彙力があがったな、と実感する時があります。
- 研究会活動を皆で話し合いながら進めた事。一人暮らしで自立できる人間の基礎ができた事。専門知識を身に着けた事。卒業後も交流のある友人を作った事。
- 研究会や授業で色々な方々と関わることで、広い視野を持って生活できるようになったこと。また、自身の将来のために時間を上手く管理できるようになったこと。
- 大学は高校までと違い、自分の学びたいことを選んで学ぶ場所だが、好きな分野とはいえ、難しいことも多かった。また、スケジュールなど、自分で管理して期限を守るというのが、より身についたように感じる。
- 大学寮生活で寮長を経験しました。大人数をまとめることは大変でしたが、学生課や寮監さん、寮生などと協力して寮を運営していく力を伸ばすことができました。(協調性、組織運営力)
- 専門分野だけでなく、ほかのいろんな出来事や不思議に関心を持てるようになったこと。高校時代は歴史系についてのみ関心があったが、研究室活動や海外研修を経て視野が広がり、哲学や科学、政治や経済などに興味を持つようになり、今の仕事に活かしている。
- 資格取得に向けて、計画的に勉学に励んだこと。様々な人との関わりを通してコミュニケーション力を充実させることができたこと。
- 特に情報収集能力が身についたと思う。wikipedia 見て終わり、というわけではなく、専門書や学术论文など様々な専門的な情報を取り入れて情報を取り入れていく能力が身についたと思う。

【人間関係学科】

- 人生観を幅広く習得できたこと。特にゼミで〇〇先生が日常生活での出来事に対する意見は大好きでした。面白がって耳を傾けるうちに、自然と自分も視野が広くなり、自分らしく生きる事の大切さを学びました。おかげで今も転職が上手くいって、新たなステップアップに成功することができました。感謝しています。
- 講義やレポート作成、試験など勉学全般に対して全力で取り組んだこと。

【食物栄養学科】

- 国家資格取得。大学 4 年間は人生で 1 番勉強した期間であり、同じ目標に向かって努力する大切な仲間に出会えた。
- 自分が通った高校は、世間一般的にどちらかといえば誰でも入学できて誰でも卒業できるような偏差値の低い学校だったので大学入学後の試験勉強方法の部分でとても苦労した。しかしその分成長できた。自分に合った勉強方法を見つけ、勉強ができる人から教え

てもらったり分からないことを後回しにせず理解できるまで勉強を続ける。こんな基礎的なことを大学でしっかりと身につけたおかげで、現在就職先でも相手に伝えるために自分で理解できるまで勉強することができている。就職先は病院ですが、患者さんに伝えるときや医師、看護師など専門職の方に伝えるとき、事前準備として大学の時に身につけた学習方法が活かされている。あと、私が別府大学で成長できたのは第一に大学の奨学生制度があったからです。元々高校を卒業したら就職すると言われていました。管理栄養士になりたいくて、別府大学を志望しました。別府大学の奨学生制度が無ければこれは叶えられなかったことです。これはずっと感謝しています。

- 様々なボランティア活動に参加し、老若男女問わずコミュニケーションをとったり自分が考えた事が社会に貢献できたりと経験を積むことができた。また、授業でのグループの活動での意見交換や実習は今の職業にも大いに繋がりをもてている。国家試験合格という目標が 4 年間ずっと頭にあったので目標(将来図)を見失わず仲間と共に最後まで諦めずに努力する事ができた。
- 自ら進んで学ぶ力。
- スケジュールを立てて物事を効率よく進める事。
- 卒業論文が必修では無かったために自由があり、自分で選択して行動できたことで成長できたと思っています。クラス制度で、担任の〇〇先生がとても良くして下さったことが 1 番よかったことだと卒業して思います。
- バイトをしたこと。
- 様々なグループ活動を通して、専門分野の意見交換、発表の難しさや、まとめることの楽しさを経験できたため、人との関わり方や、コミュニケーション能力の向上に繋がったと思っています。
- 湯けむり、ゲンエンジャー、サマキャン。
- フランス研修。
- 勉強面で成長できたのはもちろん、ボランティアやアルバイトの経験から、協調性やコミュニケーション能力が身についた。

【発酵食品学科】

- 留学を通じた成長。
- 台湾の大学への短期語学留学。分析系の実験など。
- 会計等のお金の管理ついて学ぶことができた。
- 年齢や国籍に関わらず多様な関係性を持ち、視野が広がった。
- 部活動での活動、卒論制作は卒業後の今思い返しても良い経験だったなと思います。仲間と協力して目標に取り組むことを学びました。
- 文系科目と理系科目の両方を学んだことで、両方の視点から意見を聞くことができるようになった。

【国際経営学科】

- 学習意欲。
- 行動力。

- 友人のおかげで社会に対応するスキルがあがった。
- ゼミなどを通して学外のボランティアや社会貢献をする事により、コミュニケーション能力や自主性が身につけられたと思う。
- 学内、学外での学び。
- 目標に対して、計画して物事を進めていくことは大学生活で身につけたものです。資格の取得はその中でも大きな経験でした。
- 資格取得をはじめ、様々なことに自ら挑戦できた事。
- ゼミで研究発表を行い、ゼミの中で選ばれた 1 チームが全体へ向けて研究発表するもので、研究の中での課題発見や問題解決策をチームで考え、資料の作成、発表の仕方等々行いました。課題発見能力から問題解決方法、チームとの協調性などこの経験でひとつの案件で数多くのことが成長できました。

令和6年 8 月2日

別府大学
卒業生各位

別府大学
学長 友永 植

卒業生アンケートへのご協力をお願い

拝啓

盛夏の候、卒業生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

皆様のご卒業されてから、それぞれの就職・進路先において、ご活躍のことと存じます。

さて、本学では、卒業後社会に出られた皆様に、別府大学においての学びについて、ご意見を求め、今後の大学における教育の改善に取り組んでまいりたいと考えております。

つきましては、皆様には大変お手数をおかけしますが、下記の卒業生アンケートに関するご案内をご一読いただき、ぜひ、ご回答をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 卒業生アンケート実施の目的

卒業生アンケートは、卒業生から、本学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、本学が提供する教育プログラムを改善することを目的に実施するものです。

2. 調査対象

2021 年度・2019 年度・2017 年度卒業生

3. アンケート回答期限

令和 6 年8月 16 日(金)

4. 回答方法

URL、もしくは QR コードを用いて、インターネット上のアンケート回答ページへアクセスして、ご回答ください。

URL: <https://forms.gle/4CcnXFpX5EHZuaSS7>



以上

<問い合わせ>
〒874-8501
大分県別府市北石垣 82
別府大学 キャリア支援課(満留)
TEL 0977-66-9623

2024 年度別府大学卒業生アンケート

卒業生アンケートは、卒業生の皆様が別府大学における学習成果とそれぞれの進路先における社会的ニーズに対する主観的な満足度について調査し、大学が提供する授業プログラムを改善することに資する目的で実施するものです。

あなたの卒業された年度を教えてください。

- 1.2021 年度卒業
- 2.2019 年度卒業
- 3.2017 年度卒業

あなたの卒業された学部・学科を教えてください。

- 1.文学部 国際言語・文化学科
- 2.文学部 史学・文化財学科
- 3.文学部 人間関係学科
- 4.食物栄養科学部 食物栄養学科
- 5.食物栄養科学部 発酵食品学科
- 6.国際経営学部 国際経営学科

1. あなたは別府大学で学んだことに満足していますか。

- 1.大変満足している
- 2.満足している
- 3.普通
- 4.あまり満足していない
- 5.満足していない

2. 別府大学で学んだ中で良かったところを 1 位から 3 位まで回答してください

2-1. 別府大学で学んだ中で最も良かったところ

2-2. 別府大学で学んだ中で2番目にも良かったところ

2-3. 別府大学で学んだ中で3番目にも良かったところ

「1.授業科目構成 2.授業の内容 3.ゼミ 4.クラブ・サークル活動 5.研究会活動 6.資格の取得 7.留学 8.アルバイト 9.ボランティア活動 10.インターンシップ 11.留学生との交流 12.友人づくり 13.学園祭 14.奨学金制度 15.就職・進路指導 16.学校の設備」

3. あなたは在学中にどのような知識・能力が向上したと思いますか。1位から3位まで回答してください

3-1. 最も向上した知識・能力

3-2. 2番目に向上した知識・能力

3-3. 3番目に向上した知識・能力

「1.教養、多様性の理解 2.専門知識 3.課題発見・解決力 4.論理的思考力 5.自己管理能力
6.コミュニケーション力 7.社会貢献・社会参加の経験 8.協調性 9.プレゼンテーション力
10.学習意欲・好奇心 11.情報収集力 12.情報リテラシー 13.外国語能力 14.国際力・国際感覚 15.データサイエンス・AI 活用能力」

4. 就職してから社会人として必要と思われる知識・能力はどのようなことですか。1位から3位まで回答してください

4-1. 最も必要と思われる知識・能力

4-2. 2番目に必要と思われる知識・能力

4-3. 3番目に必要と思われる知識・能力

「1.教養、多様性の理解 2.専門知識 3.課題発見・解決力 4.論理的思考力 5.自己管理能力
6.コミュニケーション力 7.社会貢献・社会参加の経験 8.協調性 9.プレゼンテーション力
10.学習意欲・好奇心 11.情報収集力 12.情報リテラシー 13.外国語能力 14.国際力・国際感覚 15.データサイエンス・AI 活用能力」

5. 卒業後の進路は希望に沿ったものですか。

1.希望通り

2.ある程度希望通り

3.どちらともいえない

4.あまり希望通りではない

5.全く希望通りではない

6. 大学生活で以下の知識・能力がどの程度身についたか、最もよくあてはまるものを選んでください。

「1.かなり身についた 2.ある程度身についた 3.あまり身につけてない 4.全く身につけてない」

(1)幅広い教養・一般常識

(2)社会や文化の多様性を理解・尊重し、異なる意見や立場をふまえて、考えをまとめる

(3)専門分野の基礎的な知識・技術

(4)現状を分析し、問題点や課題を発見し、既存の枠にとらわれず、新しい発想やアイデアを出す

(5)ものごとを批判的・多面的に考え、筋道を立てて論理的に文章化する、あるいは問題を解決する

(6)自分の適性や能力を把握し、自分の感情を上手にコントロールする、あるいは自分に自信や肯定感をもつ

(7)自分で目標を設定し、計画的に行動する

(8)自ら先頭に立って行動し、グループをまとめる

- (9)社会活動(ボランティア、NPO 活動などを含む)に積極的に参加する
- (10)社会の規範やルールにしたがって行動し、人と協力しながらものごとを進める
- (11)問題を解決するために、数式や図表・グラフを利用し、実験や調査を適切に計画・実施する
- (12)自分の知識や考えを図表や数字を用いて表現する
- (13)外国語で読み、書き、聞き、話す
- (14)進んで新しい知識・能力を身につけようとする
- (15)多様な情報から適切な情報を取捨選択し、文献や資料にある情報を正しく理解する
- (16)コンピュータを使ってデータの作成・整理・分析する、文書・発表資料を作成し表現する
- (17)国際的な視野
- (18)データサイエンス AI 活用能力

7. 卒業論文、卒業研究時の製作は、専門力、汎用力の点で仕事や生活に活かされていますか。

☐大いに役立った

☐役立った

☐普通

☐役立たなかった

☐大学時代にもう少し能力を身に着ける努力が必要だった

8. あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験を教えてください(自由記述)

卒業生アンケートは以上となります。ご回答ありがとうございました。